The Monodukuri Nippon Grand Award in KYUSHU

第8回 ものづくり日本大賞

九州地区受賞者一覧

日本の未来を創る、
私たちのものづくり。

経済産業省
九州経済産業局

※経済産業省部分のみ抜粋

ものづくり日本大賞とは

ものづくり日本大賞は、日本の産業・文化の発展を支え、豊かな国民生活の形成に大きく貢献してきたものづくりを着実に継承し、新たな事業環境の変化に柔軟に対応しながらさらに発展させていくため、ものづくりの第一線で活躍する各世代のうち、特に優秀と認められる方々を顕彰する制度です。

特に、昨今我が国製造業が直面している様々な事業環境の変化に柔軟に対応し、新たな付加価値を提供する人材にスポットライトを当て、広く発信していくことを目的としています。それによって、ものづくりに携わる全ての方々の意欲向上、ひいては我が国製造業が今後も力強く成長していくための原動力となることを期待するものです。

（1）産業・社会を支えるものづくり

部門	部門概要
製造・生産プロセス部門	製造・生産工程における画期的なシステムや手法の開発・導入によって、生産の抜本的効率化など、生産革命を実現させた個人又はグループを表彰。
製品・技術開発部門	高度な技術的課題を克服し、優れて画期的な製品若しくは部品や素材等の開発・実用化を実現させた個人又はグループを表彰
伝統技術の応用部門	地域に根ざした文化的な技術や、熟練人材により受け継がれてきた伝統的な技術の工夫や応用によって、革新的・独創的な製品若しくは部品や素材、生産プロセス等の開発・実用化を実現させた個人又はグループを表彰
「Connected Industries-優れた連携」部門	協調領域におけるデータ共有等を通じて機械、技術、人など様々なものをつなげることで、新たな付加価値の創出や課題解決を進めた個人又はグループを表彰

評価項目	評価内容（例）
a．社会的課題への対応	技術的革新性だけでなく、モノに留まらないサービス・ソリューション提供や、人材不足をはじめとする社会的課題の解決を通じて、新たな付加価値を創出している、もしくはその見込みがある取組を評価
b．革新性	新規性、独創性、新規市場の開拓可能性や、克服技術の難易度、ボトルネック解消の困難性、性能、品質面の優位性・信頼性、効率性、生産性、合理性、能率向上への寄与の面から評価
c．波及効果	経営貢献度(売上・収益・コスト削減)、市場シェア、新規市場への影響、他事業への転用・応用・将来性、普及可能性、既存システムへの影響の面から評価

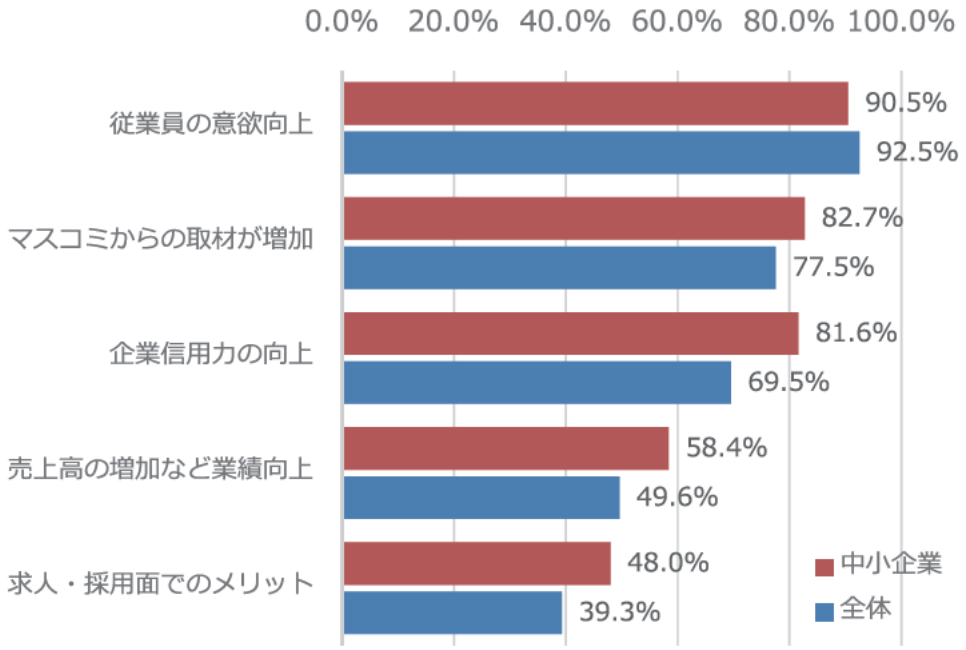
（4）ものづくりの将来を担う高度な技術・技能

部門	部門概要
人材育成支援部門	青少年育成支援や第4次産業革命に対応したデジタル化対応の人材育成等、幅広く、日本の将来のものづくり人材育成支援において、その活動が目覚ましいと認められる企業、ＮＰＯ等を表彰

評価項目	評価内容（例）
a．社会的課題への対応	社会環境の変化を踏まえ、モノに留まらないサービス・ソリューション全体を考えられる人材の育成を通じて、社会的課題を解決している、もしくはその見込みがある取組を評価
b．革新性	新規性、独創性、類似する取り組みの有無、将来を担う人材がものづくりに対して興味を抱くような創意工夫、学校における学習科目との整合性、地域の関係機関との効果的な連携の面から評価
c．波及効果	自社に留まらず社会・地域で幅広く活躍する人材の育成支援、取り組みの継続性、内容や参加人数の拡大可能性の面から評価

受賞効果（ものづくり大賞ホームページより）

～社内外に大きな反響、高い効果～



全体

受賞者のほとんどが受賞効果の高さを実感。「従業員の意欲向上」の92.5%を筆頭に、「マスコミからの取材が増加」「企業信用力の向上」と高い割合で続いています。

中小企業

中小企業受賞者の約6割が売上高増加等の業績向上に結びついたと回答。企業信用力の向上にいたっては8割以上、求人、採用面でのメリットも5割近くと結果が出ています。

受賞者の声

パブリシティ効果

- 取材件数が増加。メディア関係での報道により信用度がアップし、また講演も増えるなど認知度も向上した（第３回受賞者）
- マスコミの取材を通して本製品・技術の認知度が広がり、ユーザーからの引き合いが増えた（第４回受賞者）
- 取引先からの声かけやマスコミからの取材申込が増えている（第7回受賞者）

業績効果／営業効果／信用力効果

- 新分野への参入にあたり、本賞受賞もありスムーズな協力関係を構築できた（第４回受賞者）
- 顧客の信頼性向上につながった。政府（国）が表彰するという重みがある(第４回受賞者)
- ユーザーへの技術力のアピール、顧客開拓のプレゼンテーションに大きく寄与している（第５回受賞者）
- 受賞により社会的な高い信頼を得ることができ、取引先が発注稟議を回す際に大きなプラス材料となった（第７回受賞者）

求人・採用面での効果

- 就職希望者が増加。知名度が格段に向上するきっかけとなった（第２回受賞者）
- 学生の就職に関する問い合わせも増え、若手入社につながっている。志望理由として本賞を挙げる学生が増えた（第４回受賞者）
- 受賞により職人のたちのモチベーションがあがった。さらに学生など若手の雇用につながった（第７回受賞者）

ものづくり大賞シンボルの由来

日本最古の書物「古事記」に記述されている伊耶那岐命・伊耶那美命が「天の沼矛（あまのぬほこ）」で国土を掻きまわし、それによって日本の始まり（＝ものづくりの始まり）があったとされる伝承をモチーフに表現。

ものづくり（＝国づくり）を継承する生産者の精神をシンボライズしました。

中心のエレメントは「天の沼矛（技術者）」そのもので、回りを囲む半月形は「大地（＝日本国土）」であり、日本に根を張り、豊かな国民生活の形成に貢献している様を表現しています。

カラーリングのブルーは「高度な製品・技術」と「文化・伝統を支えていく精神」をイメージさせています。

発行日：令和2年2月
発行者：九州経済産業局地域経済部製造産業課
福岡市博多区博多駅東２－１１－１
電話：０９２－４８２－５４４２

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
GREEN PRINTING JFPI
P-B101154
この印刷製品は、規格に配慮した資材と工場で製造されています。
VEGETABLE OIL INK

第８回　ものづくり日本大賞九州地区表彰者

第８回「ものづくり日本大賞」に、九州管内から経済産業大臣賞（３件１３名 １団体）、優秀賞（３件１８名）、及び、九州経済産業局長賞（１４件８０名）の受賞が決定しました。

目次

部門名	案件名	受賞者（受賞企業・団体名）	頁
経済産業大臣賞			
伝統技術の応用部門			
	世界初！！日本古来の醸造技術から生まれた高純度ヒト型セラミドの開発及びその実用化	植木　達朗、野田　義治、脇山　元気、岡部　國友、篠崎　博之、森實　剛史 (福岡県醤油醸造協同組合・株式会社篠崎)	----05
「Connected Industries -優れた連携」部門			
	MESを中心とした工場システムと生産設備の相互接続による工場IoT化	山下　暁、藤本　和也、上村　直也、大野　弘貴、岩永　宏明、北村　徹、廣瀬　暢聴 (金剛株式会社)	----07
人材育成支援部門			
	半導体関連分野で国内最大となるリカレント教育機関「システム開発技術カレッジ」	(公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団)	----09
優秀賞			
製造・生産プロセス部門			
	防振ゴム製品製造におけるＶＯＣ排出ゼロと製造コスト削減を実現する加硫接着プロセス	中島　幹雄、木村　太郎、浦川　稔寛、渡邊　勝宏、江口　力人、高田　芳邦、吉住　武美 (中島ゴム工業株式会社・他２団体)	----11
製品・技術開発部門			
	膜展開式軌道離脱装置「DOM」の開発と宇宙実証	中島田　正宏、栗原　聡文、宇戸　大樹、金子　哲也 (株式会社中島田鉄工所・他1団体)	----13
	次世代の歯車加工　高効率生産のためのパワースカイビング専用工具の開発	濱田　浩太郎、木原　剛、塘　俊郎、山崎　勇、高祖　壮孝、藤原　博樹、山北　章仁 (九州精密工業株式会社・ケイエイケイツール株式会社)	----15
九州経済産業局長賞			
製造・生産プロセス部門			
	世界初！ノンフライでアクリルアミド、トランス脂肪酸の毒性除去と低カロリー実現	渡邊　勲 (株式会社テラフーズ)	----17
	液化水素(LH2)の大量海上輸送を可能にするキャリヤ支持材の表面処理(めっき)技術の開発	中野　寛文、宮城　憲一、馬籠　隆広、須藤　浩平、山元　亮平、冨永　富士男、渡辺　由香里 (株式会社九州電化)	----19

世界初！静電気の可視化技術により生産性向上、工程管理、品質改善を図る装置の開発	川辺　健一　、中村　伸一、落　治、中村　毎見、林　雅和、荒武　良奈、尾前　宏 (株式会社オーケー社鹿児島)	----21
航空機難削材加工における競争力強化のための、加工技術の高度化及び加工システム開発	井田　博、泉谷　雄平、小林　美香、坂井　要輝、瀧内　直祐、福田　洋平、馬場　恒明 (株式会社ウラノ・他1社2団体)	----23
製品・技術開発部門		
膝のトラブルを予防するＳＨＭ機能搭載の「アサヒメディカルウォーク」健康シューズ	塚本　裕二、江西　浩一郎、岡　謙祐 (アサヒシューズ株式会社)	----25
高延性厚鋼板の開発による船舶衝突安全性の向上	柳田　和寿、市川　和利、大川　鉄平、小田　直樹、紙田　健二、山田　安平、船津　裕二 (日本製鉄株式会社他1企業、2団体)	----27
従来の成膜概念を一新したマスク成膜システムの開発と実用化	長峯　清隆、大坂　卓也、松崎　洋一、村永　哲一、野間　慶一郎、大塚　貴之、長峯　隆介 (株式会社システム技研)	----29
検疫処理や農業生産現場の殺虫、殺菌処理に効果的なモジュール型蒸熱処理装置の開発	迫畑　武志、古垣　洋次 (三州産業株式会社)	----31
世界が認めた高機能プラスチック製手術器具の開発と実用化(商品名：コウプライト®)	荒殿　剛、波田野　真人、佐々木　頌祐、椎葉　裕美、豊田　優子 (安井株式会社)	----33
暮らしを支え進化し続ける「ＦＡロボットケーブル」の開発	吉田　曉生、津地　誠哉、仁井見　積、西村　和彦、前田　俊輔、諫元　伸幸、井上　雄太 (大電株式会社)	----35
生産性2倍を実現する高精度連続加工技術に付加した非接触高速機上測定技術による革新	三重野　計滋、森本　利一、伊藤　慎吾、森下　義之、荒木　省吾、田邊　未来望、田中　信也 (株式会社ワークス)	----37
伝統技術の応用部門		
世界で唯一、握るだけで自然に学習姿勢が良くなる、人間工学を応用したグリップの開発	隈本　知伸、友延　憲幸、楠本　幸裕、刈谷　臣吾、河原　雅典、市丸　美波子 (独楽工房　隈本木工所)	----39
「Connected Industries -優れた連携」部門		
国内拠点とベトナムをITで繋ぐ「デジタルものづくり」で効率化と人手不足解消を目指す	武田　宜臣、能勢　英幸、根岸　祐司、横山　賢次、白石　正直、田中　裕章、小笠原　幸司 (フロンテックＰＲＯ株式会社)	----41
インダストリアルIoT機能を搭載した電動自走式クラッシャDendoman NE200Jの開発	瀬崎 忠、廣島　孝輝、井上 信介、山口　正則、山下 統聖、川瀬　慧星、小田　亮太 (株式会社中山鉄工所)	----43

部　門	伝統技術の応用部門	企業・団体名	福岡県醤油醸造協同組合 株式会社篠崎
受　賞 件　名	世界初！！日本古来の醸造技術から生まれた 高純度ヒト型セラミドの開発及びその実用化		
受賞者	リーダー：植木達朗（福岡県醤油醸造協同組合） メンバー：脇山元気、野田義治（福岡県醤油醸造協同組合）、岡部國友、篠崎博之、森實剛史（株式会社篠崎）		

【受賞メッセージ】
栄えある賞を賜り光栄に存じます。醸造に携わる者として、古来より利用されてきた“麹菌”が現代のものづくりの手助けとなったことを感慨深く感じます。本件は株式会社ジェヌインR&D社と京都大学の皆様の協力を頂いたことにより達成できました。各位に心より感謝申し上げます。

博多天然ヒト型セラミド
－こうじ由来－

「博多天然ヒト型セラミド」ロゴ

ヒト型セラミド配合ドレッシング・甘酒

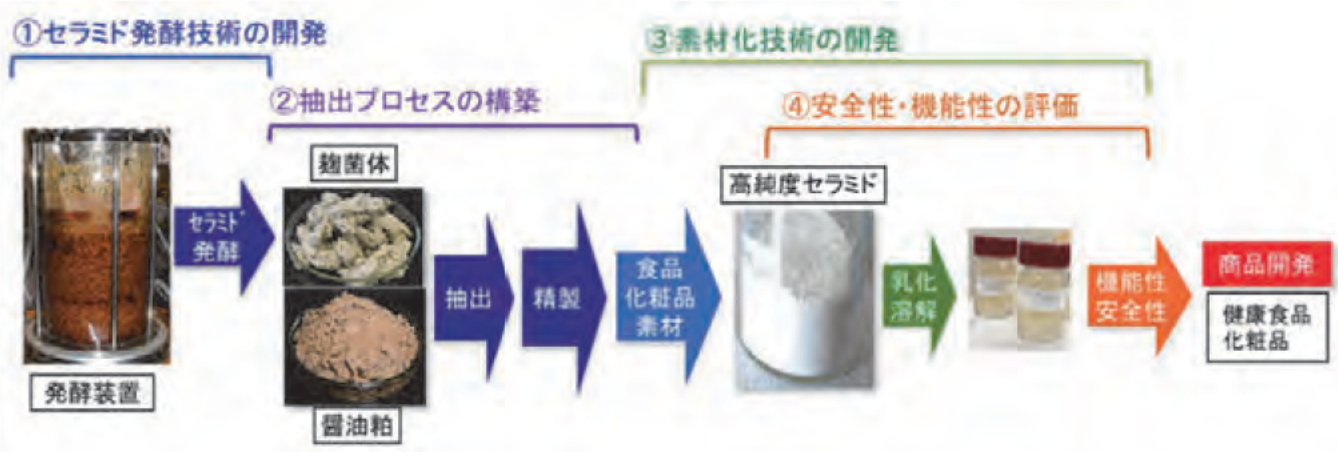
【お問合せ先】
〒818-0014 福岡県筑紫野市大字牛島65番地
TEL：092-922-3831　FAX 092-928-3501
URL：http://www.fsjk.or.jp/

案件の概要

福岡県は全国一醤油業者の多い県であり、福岡県醤油醸造組合は福岡県下の醤油業者の協同生産工場である。醤油は我が国の伝統的な調味料であるが、その出荷量は20年程前から減少を続け最盛期の67%程度まで減らしている。他方、清酒もまた出荷量が大きく減少し最盛期の33%に至っている。蔵元のほとんどは中小企業であり、さらに従事者の高齢化、後継者不足などにより、古くからある「地域の地酒」は、年々失われつつある。

受賞者らは、醤油粕中の天然の「ヒト型セラミド」を分離し、ヒト試験等により、安全性と機能性を明らかにし、事業化に結び付けた。特に機能性では、皮膚の乾燥を防ぐ効果に加え、新規に疲労感の軽減効果を見出し、有用な素材であることを科学的に証明した。また、その過程で醤油粕中のヒト型セラミドが「麹菌」によって作り出されることを知り、麹菌によるヒト型セラミド発酵に取組み、醤油粕の5倍のヒト型セラミドを蓄積した麹菌体の調製に成功した。

和食は日本人の文化であり家庭の味でもある。その和食を支えてきた醤油・味噌・清酒などの醸造において麹菌は欠くことが出来ない微生物である。受賞者らは、醤油粕や麹菌から得られるヒト型セラミドに地元・福岡の地名を冠した「博多天然ヒト型セラミド」と名付け、これを配合した製品を、ドレッシングと甘酒を始めとして順次商品化していく。多くの可能性を秘めたこの素材を活用することで、醤油や清酒業界の未来を切り開いていく。



部　門	「Connected Industries -優れた連携」	企業・団体名	金剛株式会社
受　賞 件　名	MESを中心とした工場システムと生産設備の相互接続による工場IoT化		
受賞者	リーダー：山下 暁　（金剛株式会社） メンバー：藤本 和也、上村 直也、大野 弘貴、北村 徹、岩永 宏明、廣瀬 暢聴（金剛株式会社）		

【受賞メッセージ】

この度は栄誉ある賞をいただきありがとうございます。

熊本地震からの復興の中、変革へのチャンスを掴み取るため、チーム一丸となり失敗を恐れず挑戦した結果だと思っています。

変革はまだ道半ばですが、熊本の創造的復興の一端を担えるよう、今後も挑戦し続けます。

KONGO×Connected Industries

業務効率化のメリットや効果

【お問合せ先】
〒861-3107　熊本県上益城郡嘉島町大字上仲間字八津1825番地（新工場）
TEL：050-1746-1600　FAX 096-237-5117
URL：https://www.kongo-corp.co.jp/

案件の概要

【案件概要】

▼受賞案件の概要

変種変量生産を行う板金工場ではハードルが高く、困難とされてきたMESに着手し、生産管理と生産設備やCAM、BOMなどのシステム要素を、自社開発したMESや中間アプリケーションに連携させることで、生産性向上や業務効率化を行い、生産性30%UPを目指している。

また、MESは、一般的な工場IoTで言われる「稼働実績」のほか、継続的な改善活動を行うため、設備が主ではなく、生産物を主とした「どの生産物」が「いつ・どの設備で生産」されたか、という生産実績データの収集と蓄積を行うシステムを開発した。

現在も設計/生産管理システム、MES、BOM、生産設備などの各種要素を連携し、工場全体での業務効率化へ向け、順次システムを拡張中である。

▼社会的課題の解決

•社会的課題の解決①：地震対策製品拡販による防災・減災

企業理念である「安心と先進で社会文化に貢献する」ためにも、自社製品とともに、他社向け製品への展開、及び他社製品と協調できる体制も強化し、災害という社会的課題に対応するため、地震関連製品による市場拡大を目指す。

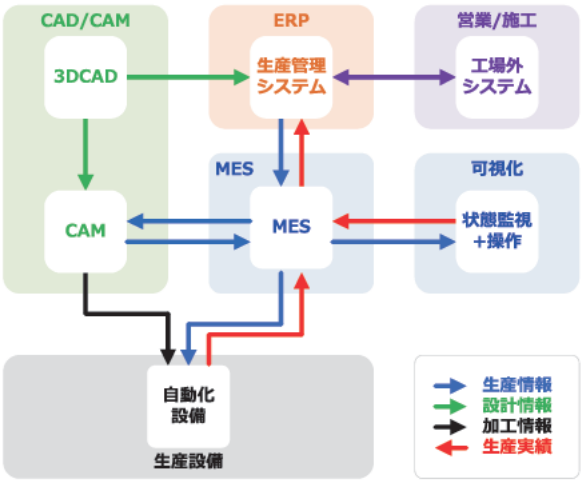
•社会的課題の解決②：省人化～少人化への対応

①の社会的な課題やニーズに応え、生産性の向上を図りながら少人数で生産できる工場へと変革するため、より少ない作業員で効率よく生産できる「生産設備」や「データ連携」、及び「工場のIoT化」を実施した。

▼革新性や波及効果

簡易的な生産設備のIoTから、MESを使用した高度な生産システム、さらにCAMや3DCADなどを含めたデータ連携まで、広く深く展開しながら工場全体の業務効率化へ向け挑戦している。

よって、熊本県の第三者機関などと足踏みを揃えて、失敗や成功事例などを含め普及活動を行っていくことで、熊本県、及び九州の他の中小企業の発展に寄与したい。



MESを中心とした工場システム構成

設備、人、システムなどの連携

部　門	人材育成支援	企業・団体名	公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団
受　賞 件　名	半導体関連分野で国内最大となるリカレント教育機関「システム開発技術カレッジ」		
受賞者	校　長：福田 晃 九州大学 大学院システム情報科学研究院　主幹教授 副校長：中村 和之 九州工業大学　マイクロ化総合技術センター 教授 メンバー：三井 朋美、梶原 勝幸、山下 英博、平野 俊典、有瀬 房美		

【受賞式】

【カレッジメンバー】

【受賞メッセージ】
　我々カレッジは、設立以来多くの技術人材を育成してきました。

　今後益々深刻になると予想される技術人材の不足は、企業にとって深刻な問題となります。
　今回の受賞を機に、なお一層、企業に必要とされる技術人材の育成に励んで参ります。

カレッジ講義室での受講の様子（機器を使った実習も行っている）

【お問合せ先】
〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜3-8-33
TEL：092-822-1550　FAX 092-832-7158
URL：https://ist-college.org/
E-mail: ist-college2@ist.or.jp

案件の概要

【ａ．社会的課題への対応】

・半導体設計開発拠点化には、専門人材が不足していたため、技術者を育成し集積させるため、2001年12月、半導体分野で国内初となるカレッジを開校
・変化する社会・産業ニーズへ対応するため、内容や体系を再構築し、2016年にカレッジ名称と講座体系を刷新
・現在は、今後の業界に必要な、自動車ＥＶ化やAI、IoTなどの講座も実施

【ｂ．革新性】

○新規性・独創性
・半導体分野で、国内初となるリカレント教育カレッジを開校
・基本～応用までの講義と実習、基本力と応用力の即戦力講座を50以上開催
・受講先要望に応じて、開催場所やカリキュラムなどをフレキシブルに変更
・ハードからソフトまでの広範囲に実施している最大規模のリカレント機関

○将来を担うものづくり人材への興味喚起
・はんだ付けや社会的関心が高い周辺分野、ＡＩやＩｏＴなどの公開講座や地域の一般技術者向け勉強会「ももち浜TECHカフェ」で興味喚起し、裾野を拡大

○関係機関との連携
・講師は、全国各地の有名大学の教授や高い技術力を有する企業から招聘
・九州組込みソフトウェアコンソーシアムなどの機関とも連携し、組込みソフト関連講座を実施

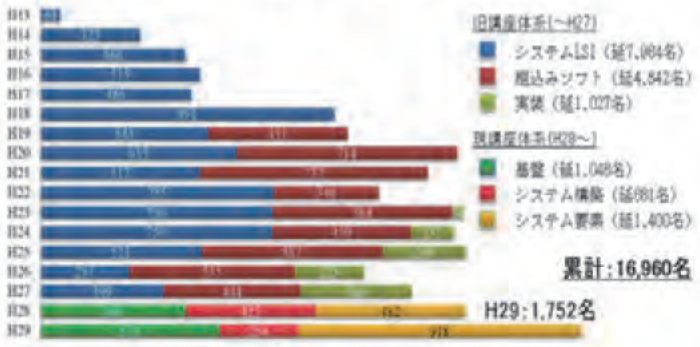
【c．波及効果】

○幅広く活躍できる人材育成
・県内のみならず、企業要望に応じ、関東や関西でも開催
・国内の大手半導体企業や家電メーカーでの社内講座にも定着

○内容や参加人数の拡大可能性
・人材育成コーディネータを配置して、常に講座の適正化を実施、新規講座を開発

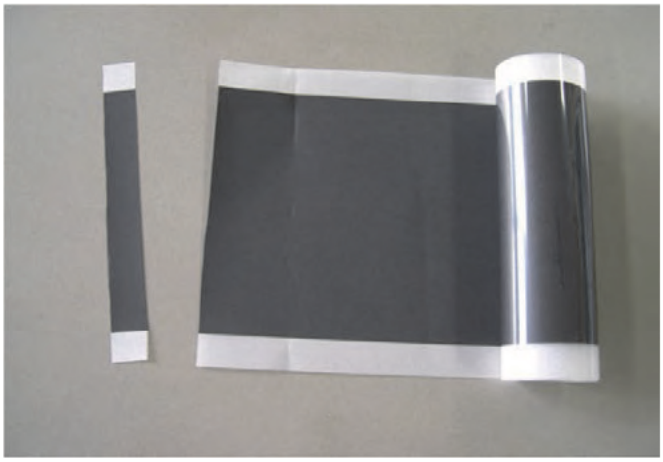
講座体系（50を超える講座）

受講者数の推移



部　門	製造・ 生産プロセス	企業・ 団体名	中島ゴム工業株式会社 他２団体
受　賞 件　名	防振ゴム製品製造におけるＶＯＣ排出ゼロと製造コスト削減を実現する加硫接着プロセス		
受賞者	リーダー：中島幹雄　（中島ゴム工業株式会社） メンバー：江口力人、高田芳邦、吉住武美（中島ゴム工業株式会社）、渡邊　勝宏（久留米工業高等専門学校）、木村太郎、浦川稔寛（福岡県工業技術センター）		

【受賞メッセージ】
弊社製品ACULAHが優秀賞を受賞することができましたのも、ひとえに皆様方の日頃よりのご支援によるものと、心から感謝しております。
これからも皆様の期待に沿えるよう、より社会に貢献できます製品を作り出すよう努力して参りたいと思います。



加硫接着フィルム　ACULAH®

関連写真・図の説明

【お問合せ先】
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町上津留2305-10
TEL：0942-37-1500　FAX 0942-31-3939
URL：http://www.nakashima-rubber.co.jp/

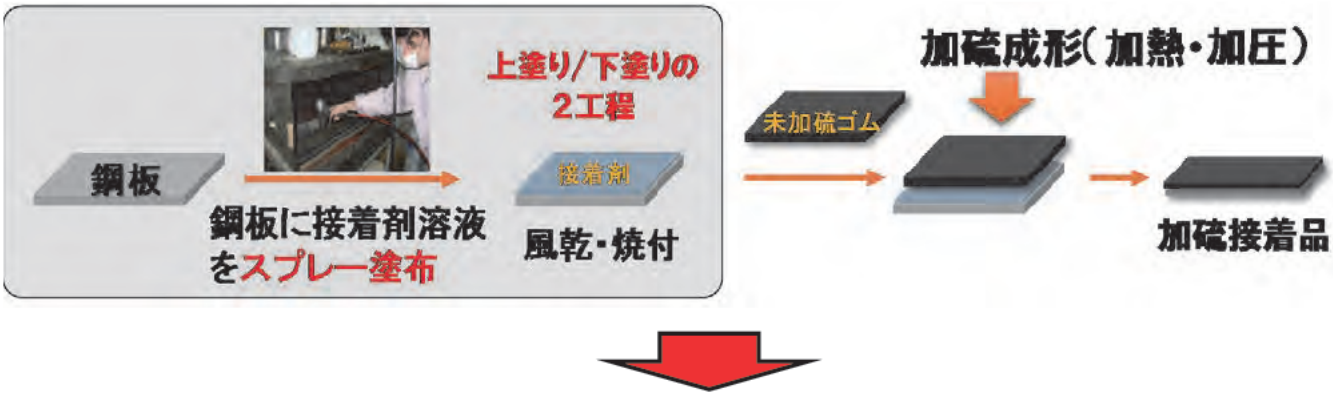
案件の概要

- 金属とゴムとを接着する自動車ダンパーのような防振ゴム製品等の加硫接着プロセスでは、大気汚染等の原因となるVOC（揮発性有機化合物）を排出しない、地球環境、作業労働者にやさしい接着プロセスが求められていた。

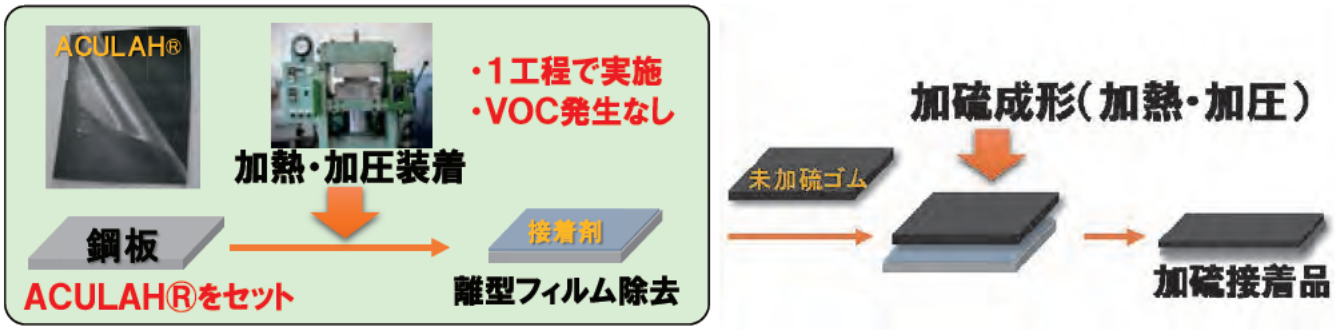
- そのため、加硫接着剤を離型フィルム上に成形するという独創的な発想で産学官共同研究に着手。**有機溶剤を全く含まない加硫接着剤フィルム『ＡＣＵＬＡＨ®』の製品化に成功。**

- 本製品の販売によって、**VOC排出ゼロを実現し、導入企業の製造コストを約40%削減。**平成26年の上市以来着実に売り上げを伸ばし続け、**直近売上額に対する本製品の貢献度は約50%**を占めている。

【従来の加硫接着プロセス】



【ＡＣＵＬＡＨ®による加硫接着プロセス】



優秀賞

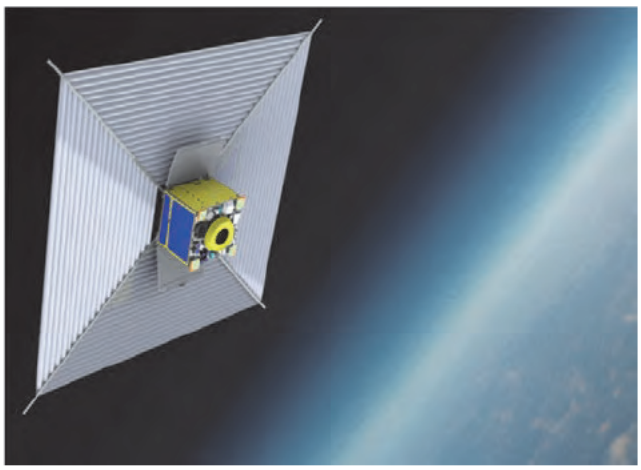
部　門	製品・技術開発	企業・団体名	株式会社中島田鉄工所 他1団体
受　賞 件　名	膜展開式軌道離脱装置「DOM」の開発と宇宙実証		
受賞者	リーダー：中島田　正宏　　（株式会社中島田鉄工所） メンバー：桒原　聡文　　（国立大学法人　東北大学） 宇戸　大樹　　（株式会社中島田鉄工所） 金子　哲也　　（株式会社中島田鉄工所）		

【受賞メッセージ】

栄誉ある賞を賜り、大変光栄に思っております。世界に先駆けた装置の開発ならびに宇宙実証に携わっていただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

今回の受賞を励みに、これからも努力研鑽を重ね、宇宙の環境問題に貢献できるよう努めて参ります。

膜展開式軌道離脱装置「DOM2500」

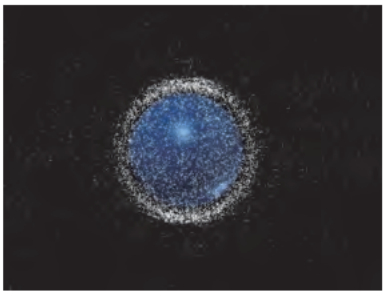


宇宙空間での展開イメージ

【お問合せ先】
〒834-0196 福岡県八女郡広川町大字日吉1164-4
TEL：0943-32-4331　FAX 0943-32-5134
URL：http://www.nakashimada.co.jp/

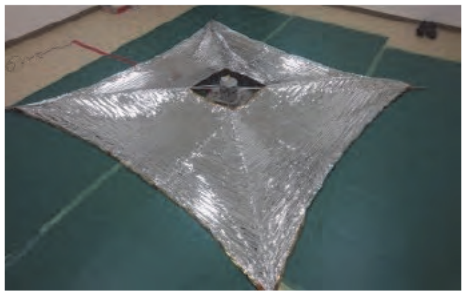
案件の概要

近年、世界中で超小型人工衛星の開発が盛んに進められており、今後地球周回軌道へ投入される超小型人工衛星は増加の一途を辿ることが予想されているが、運用を終了した人工衛星がスペースデブリ化することが問題となっている。
これらを積極的に阻止し、速やかに軌道から除去する技術が求められていることを受け、2010年頃に東北大学と共同でこの装置の開発を始めた。
「DOM®」は直径100㎜前後の小さな筒状のケースから一辺が約1500㎜から2500㎜、厚さ約0.0125㎜の薄膜を瞬時に展開することで宇宙空間に存在する僅かな大気抵抗を利用し人工衛星を減速させ周回軌道から離脱させる装置である。機械的な原理で宇宙空間でも確実に駆動するように設計された。この装置は今後最も多く開発されることが予想されている超小型衛星と呼ばれる50kg級衛星の軌道離脱手段として開発された。（衛星分離機構内部に搭載可能）



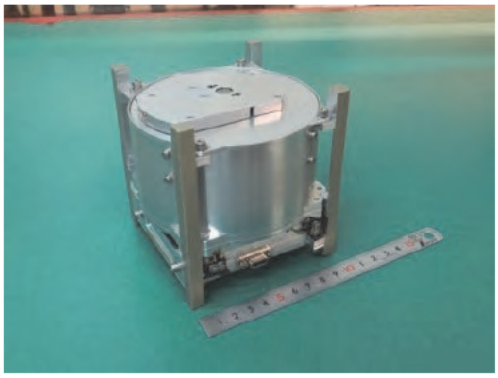
スペースデブリのイメージ

ロケットインターフェース内部に搭載したイメージ

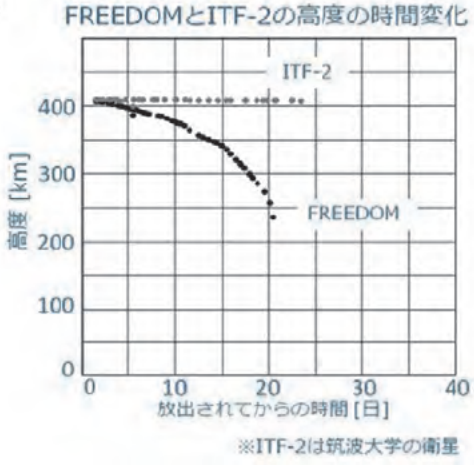


DOM2500の膜展開時

この装置の宇宙実証用小型衛星「FREEDOM」は2017年1月に軌道投入され約20日程度での軌道離脱に成功した。同時に軌道投入された他の人工衛星は2年近く軌道を周回したことから、膜が確実に展開されその膜の効果で短期間に軌道を降下することが実証された。現在、世界的にも超小型人工衛星用の軌道離脱用コンポーネントは存在しない。この「DOM」を採用することで宇宙実証済の軌道離脱手段として搭載でき、確実な軌道離脱が可能となるだけでなく人工衛星の開発期間や開発費の大幅な削減が期待できる。また、所定の軌道高度に速やかに降下させる手段としても応用が期待されている。



宇宙実証用超小型衛星「FREEDOM」



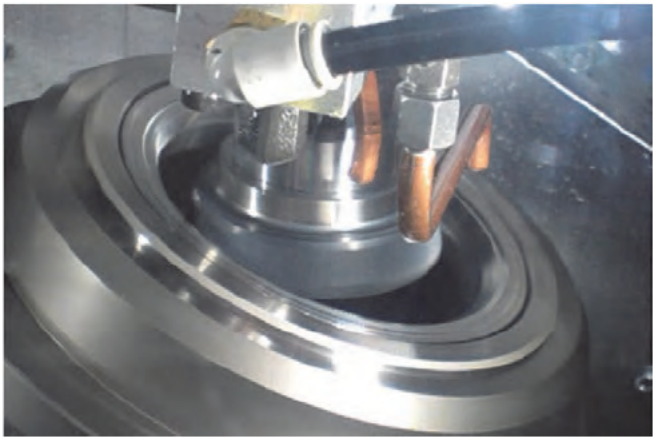
優秀賞

部　門	製品・技術開発	企業・団体名	九州精密工業 株式会社 ケイエスケイツール 株式会社
受　賞 件　名	次世代の歯車加工 高効率生産のためのパワースカイビング専用工具の開発		
受賞者	リーダー：濱田　浩太郎　（九州精密工業 株式会社） メンバー：木原 剛（九州精密工業 株式会社） 塘 俊郎、山崎 勇、高祖 壮孝、藤原 博樹、 山北 章仁（ケイエスケイツール 株式会社）		

【受賞メッセージ】

今回の受賞を誠に光栄に思っております。本製品技術は、歯車の加工におけるお客様の多様化するニーズに対応すべく、全社を挙げて取り組んできました。これに満足することなく、今後も時代にマッチした製品を提供できるよう、より優れた製品づくりに取り組んで参りたいと思います。

パワースカイビングカッターの写真



パワースカビング（歯車）加工の様子

【お問合せ先】
〒849-0204 佐賀県佐賀市久保田町大字久保田1512番地
TEL：0952-68-3001　FAX 0952-68-3026
URL：http://www.q-seimitsu.co.jp/

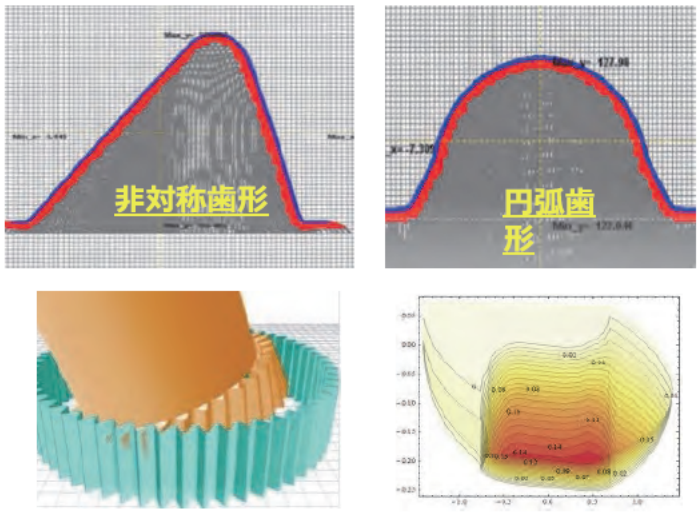
案件の概要

昨今、電気自動車（ＥＶ）やロボット産業が大きく成長することが予想される中、内部に使用される歯車においては、更なる小型・軽量化、強度向上やノイズ低減、高能率加工等、ますます高度な性能が求められてきている。

そのため、次世代の歯車加工技術として期待を集めているパワースカイビング工法の専用工具生産体制を構築。難しいとされてきた特殊歯形での工具設計を可能にすると共に、発熱の大きいパワースカイビング工法の弱点を補うため、独自コーティング膜を開発した。

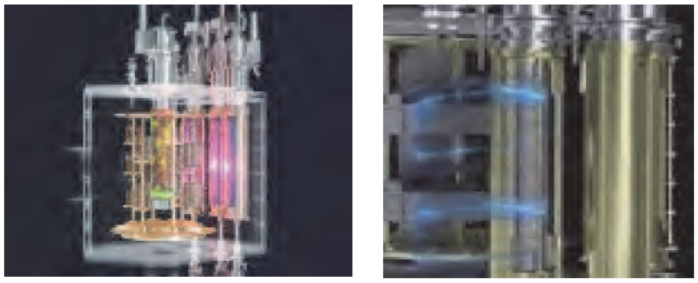
本プロジェクトを通じ、「超小型・高精度」、「ユーザースペックに合わせた歯形の任意変更」、「工具長寿命化」を高次元で実現することが可能となった。

特殊歯形解析技術



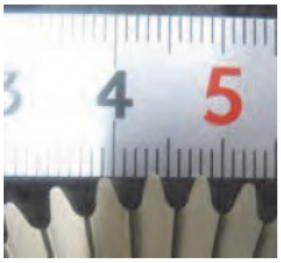
歯車の加工における特徴（従来法との比較）

特殊表面処理技術



ロボット用超小型工具

自動車用工具



優秀賞

部　門	製品・技術開発	企業・団体名	株式会社テラフーズ
受　賞 件　名	『世界初！ノンフライでアクリルアミド、トランス脂肪酸の毒性除去と低カロリー実現』		
受賞者	リーダー：渡邊　勲（株式会社テラフーズ代表取締役）		

【受賞メッセージ】
こんな小さなベンチャー企業が受賞とは！
地元大分の皆様にも大きな勇気と喜びを与えるだろう。
地元への恩返しの一つになる。
“大分の宝物”、“日本の宝物”、
今や“世界の消費者の宝物”となりつつある「焼きじゃが」。
非常に嬉しい！　　渡邊

ノンフライチップス（素焼き）

各種商品

【お問合せ先】
〒873-0421　大分県国東市糸原市場1200-1
TEL：0978-64-8233　　FAX 0978-64-8234
URL：https://terrafoods.jp/

案件の概要

【案件概要】

本発明は、スナック菓子製造に関するもので、従来の高温の油で揚げる製法に代わる独自開発の技術によって、原料を膨化（気泡を生成）させて素焼きの生地を作ること及び遠赤外線焼成にて、素材の風味を生かしながらパリパリ、サクサクとした独特の食感と美味しさを実現するものである。

1．本発明の特徴

1）スナック菓子の多くは高温の油で揚げる製法で作られている為、その製造過程において人体の健康に悪影響を及ぼす毒性物質「トランス脂肪酸」及び「アクリルアミド」が生成され，油のカロリーは9kcal/gであり「肥満の元」となる。

2）本件発明の「スナック菓子及びその製造方法」（ノンフライ製法）は、高温の油で揚げずにポテトチップスなどスナック菓子の製造を可能とし、油の弊害である「アクリルアミド」、「トランス脂肪酸」を生成せず、しかも低カロリーのスナック菓子の製造を可能とした世界初の製法である。

2．革新性

1）従来の油で揚げるスナック菓子製法では解決できなかった“油の弊害”を解決した製法として、極めて独自性の高い革新的な製法である。

2）従来製法では成し得ない、同一製造工程で異なる原料の組み合わせによるスナック菓子の製造を可能としている。故に、多彩な商品の創出を可能とする。

3．波及効果

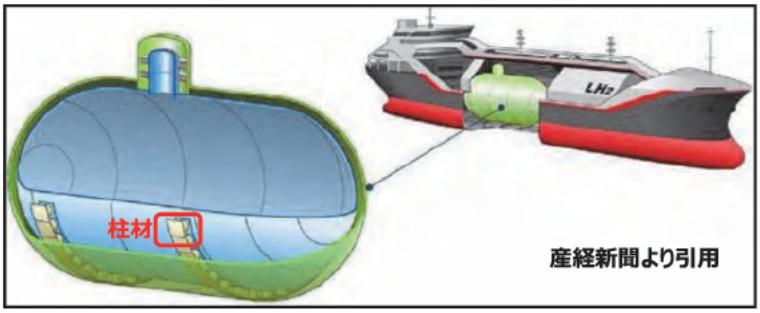
1）油の弊害（毒性）について、特にトランス脂肪酸に対してはFDAやWHOが2023年までに、あらゆる食品から排除することを決定し規制を始めている。よって、世界規模でトランス脂肪酸含有油脂及び高温の油で揚げる加工食品の製造・販売が規制されることになる。

2）毒性のない本製法は、スナック菓子製法の中で唯一その規制をクリアー出来るものであることから、国内及び海外から強い引き合いが来ている。本製法を世界に普及させることで、スナック菓子の製造方法を変革する救世主となる。特にトランス脂肪酸による疾病患者の減少は、死亡率の低減と医療費の低減に寄与し社会貢献する唯一無二の技術である。

部　門	製造・生産プロセス部門	企業・団体名	株式会社九州電化
受　賞 件　名	液化水素(LH2)の大量海上輸送を可能にするキャリヤ支持材の表面処理(めっき)技術の開発		
受賞者	リーダー：中野寛文　（株式会社九州電化） メンバー：宮城憲一、馬籠隆広、須藤浩平、山元亮平、冨永富士男、渡辺由香里（株式会社九州電化）		

【受賞メッセージ】
地球温暖化の防止は、人類共通の課題です。今回、温暖化対策のカギとなる次世代エネルギー(液化水素)のサプライチェーンの構築に寄与できましたことを、非常に光栄に思っています。

今回の受賞を励みに、これからも日本発の強いものづくりに挑戦し続けてまいります。



輸送タンクの概要

キャリア支持材(柱材)へのめっき

【お問合せ先】
〒812-0068 福岡県福岡市東区社領3-4-8
TEL：092-611-3461　FAX 092-611-3460
URL：http://www.k-denka.co.jp/

案件の概要

【案件の概要】

水素による持続可能な社会構築を目的としたLH2海上輸送を可能とするため、輸送タンクに不可欠な柱材(GFRP素材)の表面処理技術を開発しました。GFRPは金属よりも力学的物性に優れていますが、化学的安定性より従来のめっき法で密着性の高い金属被膜を形成するのは不可能でした。また、接点跡・治具跡を残さないことも要求事項に含まれていたことから、治具の開発を含めた下記要素技術を開発し柱材の表面処理を可能としました。

【特筆すべきポイント】

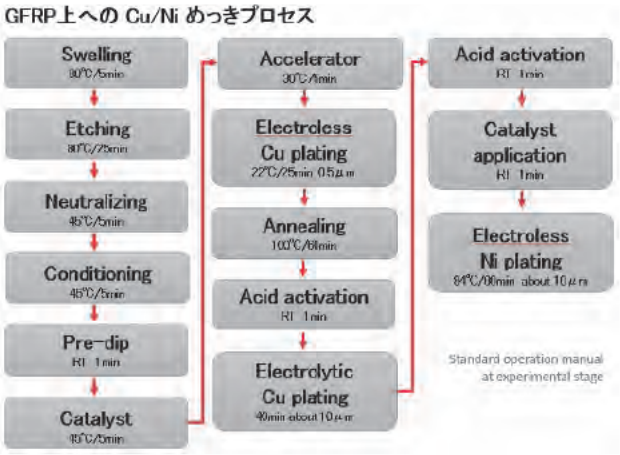
「社会的課題の解決」

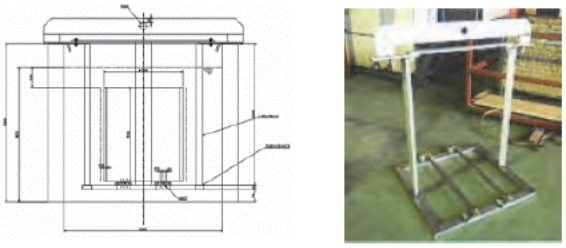
地球温暖化の解決は世界全体の課題です。そのため、世界に豊富に存在する再生可能エネルギーや未利用エネルギーを水素というキャリアで導入可能とすることは、エネルギー輸出国・輸入国双方の経済発展に大きく貢献します。

「革新性」

●革新的な治具の開発：重量物を吊り下げ可能な岡持ち型の強固なフレーム。底にはローラー軸を装着することにより、独自の治具を開発しました。

●革新的な前処理法と環境配慮型ライン構築：高密着性を担保可能なエッチング法及び多層めっき法を確立。これにより、めっき困難な内面に30μm以上、外面には40μm以上の被膜を形成可能としました。





当社開発の治具

めっき被膜の電子顕微鏡写真

「波及効果」

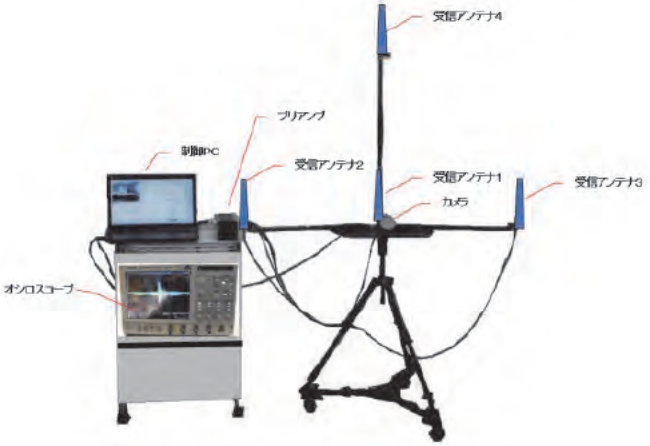
本技術はLH2の輸送(陸路)や貯蔵のほか、GFRP以外のFRP素材へ応用可能です。FRPは省エネルギーに有効な先進材料として位置づけられています。そのため、本技術を輸送機器業界に導入・普及を図ることで、エネルギー起源温室効果ガスであるCO2排出の抑制(社会的課題)に寄与するものと考えられます。

九州経済産業局長賞

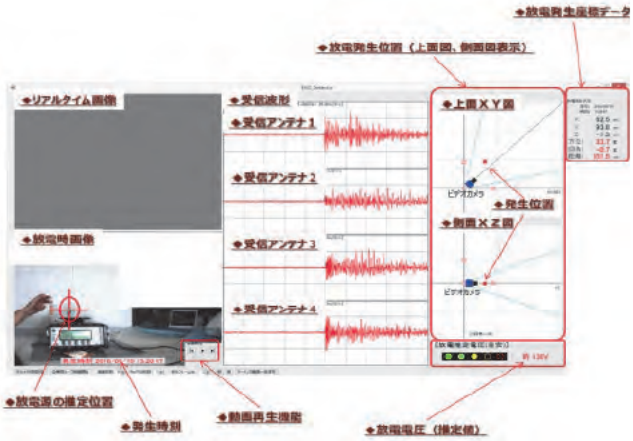
部　門	製造・生産プロセス	企業・団体名	株式会社オーケー社鹿児島
受　賞 件　名	世界初！静電気の可視化技術により生産性向上、工程管理、品質改善を図る装置の開発		
受賞者	リーダー：川辺健一（株式会社オーケー社鹿児島） メンバー：中村伸一、落治、中村毎見、林雅和、荒武良奈（株式会社オーケー社鹿児島） 尾前宏（鹿児島県工業技術センター）		

【受賞メッセージ】

この度の局長賞受賞に対し、これまでご支援いただいた全ての関係者及びご推薦いただいたかごしま産業支援センター様に感謝申し上げます。鹿児島県の特許技術を活用しながら、現場で都度直面する様々な課題を一つずつ克服してきたこれまでの努力が報われた気がします。今後も更なる改善に取り組んで参ります。



製品の外観



解析結果の表示画面

【お問合せ先】
〒892-0847 鹿児島県鹿児島市西千石町4-1
TEL：099-222-1893　FAX 099-222-1899
URL：http://o-k-kagoshima. jp/

案件の概要

【案件概要】

電子関連企業等で深刻化している静電気放電トラブルに対応するために開発した製品。

いつ、どこで発生するか分からない静電気放電現象を長時間連続で監視し、放電を検出すると、瞬時に放電源の座標を算出し、ビデオ映像上で放電位置を可視化する装置。

放電時に生じる電磁波を、高周波対応デジタルオシロスコープに接続した４本の受信アンテナで検出し、アンテナ配置と電磁波到達時間差の関係から、双曲線法を用いて放電発生座標を算出する。並行して監視領域をビデオカメラで録画し、放電検知時は該当位置にマーキング表示。どのような挙動で放電が生じたか確認できる。

従来の放電検知機はブザー音やＬＥＤ表示で放電発生を知らせるものしかなかった。

（革新性）

従来の静電気放電検知機では「静電気放電の有無と強弱」しか分からないのに対し、本装置では「静電気放電の発生時刻の表示」、「放電電圧の推定値表示」、「放電源のカメラ画像上へのマーキング表示」、「放電時の動画再生」「各データ、写真の自動記録」など様々な新たな機能を盛り込んだ。

従来機がセンサー１本のみ使用しているのに対し、本装置は複数(４本)のセンサーを用い、センサー間の電磁波の時間差を独自のアルゴリズムを駆使し、演算することで従来機でできなかった機能を数多く盛り込むことに成功した。

（波及効果）

本装置を導入することで、作業者によって静電気放電の出方が違うこと、異常放電が発生している特定の検査機を発見できることが実際の工程で確認されている。また、２４時間稼働している工程でどの時間帯にどこで静電気放電が発生しているかを確認することができている。

この可視化技術は、静電気トラブル回避への強力なツールとして必要なものとなる。

部　門	製造・生産プロセス部門	企業・団体名	株式会社ウラノ
受　賞 件　名	航空機難削材加工における競争力強化のための、加工技術の高度化及び加工システム開発		
受賞者	リーダー：井田　博　（株式会社ウラノ） メンバー：泉谷雄平、小林美香（株式会社ウラノ） 坂井要輝（株式会社DAIKO TOOL） 瀧内直祐、福田洋平（長崎県工業技術センター） 馬場恒明（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 九州センター((元)長崎県工業技術センター)）		

【受賞メッセージ】
このような素晴らしい賞をいただけたのも、素晴らしいメンバーに巡り合えた結果だと思っております。一つ一つが新しい取り組みで、大変有意義な時間を過ごす事ができました。

開発した逆刃エンドミル切削工具

切削加工品

【お問合せ先】
〒859-3922 長崎県東彼杵郡東彼杵町八反田郷57−27
TEL：0957-49-3600　FAX 0957-47-0300
URL：http://kk-urano.jp/

案件の概要

【受賞案件の概要及び社会的課題の解決】

我が国は旅客機の生産においては欧米に比べ遅れており、航空機産業においては、より一層日本の技術の特徴、高品質を生かした技術開発が必要であった。航空機部品加工では、コスト低減、生産速度重視にシフトしているため、国際競争に打ち勝つ手段として、チタン合金等の難削材の切削加工における低コスト化及び高能率化に成功。さらに、地域創生への貢献、女性、外国人のエキスパートの活躍につながった。

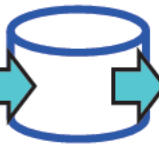
マシニングセンタオペレータ

【革新性】

①産学官連携による切削工具開発、ビッグデータ解析とその活用

切削工具

加工条件と切削加工実験結果



ビッグデータ解析

最適な切削条件

マシニングセンタ

※工具寿命3倍

※30%以上の加工時間の短縮

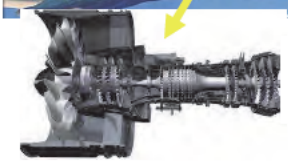
※加工パスの最適化

※工具寿命管理精度向上

※マシンニングセンタ立ち上げ納期短縮（10%増）

②大型設備投資、連携による多工程一貫生産の実現

ロボット



航空機エンジン部品

工場増設および工場の新設

平成29年度以降マシニングセンタ32台増設

（合計65台保有）、ロボット、高精度三次元測定機導入

※生産性150%増

※利益率増大（省力化）

※売上予測（2022年）4倍（2016年比）

【波及効果】

九州の企業間での技術連携、海外エンジン・機体メーカーからの受注へ　チャレンジ！

九航協エアロスペース・ネットワークの取り組み

・九州域内の企業連携による多工程（一貫生産プロジェクト活動実施）

※価格競争力の強化（対アジア）

海外メーカーへのPR

・海外エンジン・機体メーカーに積極的な拡販活動実施！

・難削材部品製造技術開発

※難削材における複雑形状部品加工・製造技術深耕

※エンジンケース・構造部品具体的案件進捗中！

九州経済産業局長賞

部　門	製品・技術開発	企業・団体名	アサヒシューズ株式会社
受　賞 件　名	膝のトラブルを予防するＳＨＭ機能搭載の「アサヒメディカルウォーク」健康シューズ		
受賞者	塚本 裕二、江西 浩一郎、岡 謙祐		

【受賞メッセージ】

この度は、栄えある賞をいただき誠にありがとうございました。当該製品の開発にあたっては、医学的見地からのアプローチや機能検証方法の確立など、多くの難題がありましたが、全面的な連携先のご支援の下、約3年がかりで製品化することができました。
特に14年以降は、弊社久留米工場の技術ノウハウを生かした国産のものづくりを戦略的に拡大させました。
※久留米生産比率15年５％→18年70％
今回の受賞を機に、今後さらに商品開発業務に精進し、社会的要請の大きなテーマへも果敢なチャレンジし、靴履物文化の発展にも積極的に貢献したいと考えています。

久留米工場にて生産される製品

ＳＨＭ機能の検証実験風景

【お問合せ先】
〒830-8629 福岡県久留米市洗町１　アサヒシューズ株式会社　商品開発部
TEL：0942-37-1204　　FAX：0942-33-1415
URL：　www.asahi-shoes.co.jp

案件の概要

「アサヒメディカルウォーク」は、今後の超高齢社会に対応すべく、靴履物の観点から健康寿命を延伸させることを目的に、これまでにない発想の「膝のトラブルを予防する靴機能」を研究テーマに設定し、九州大学、医療機関と共同研究・開発した、新技術（特許登録）の健康シューズです。

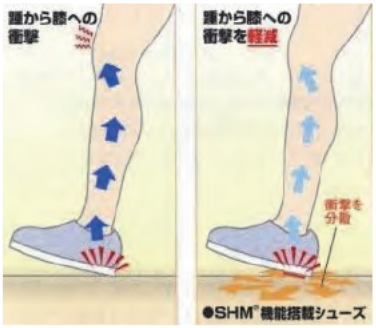
開発者自身の膝のトラブル経験から、特に膝の回旋運動に着目し、各種検証（臨床）試験や、学会発表を重ね、満を持して2006年より発売を開始しました。市場展開においては、小売流通及び消費者へ「ひざを守って歩くこと」の重要性を啓蒙する販促活動を全国各地で開催してきました。

現在の累計販売は170万足（19年12月）を超え、海外からの引合いも増えるなど、多くのリピーター顧客に愛される存在となっています。

ＳＨＭ機能の３大特長

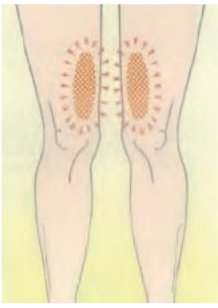
１．膝を守る理想的な歩行を実現

ＳＨＭ機能は、踵部に接地されたスクリュー構造が、①着地時の体重圧でたわみ、②踏み込んでいくと踵中心につま先がやや外へと回旋。膝関節の動きをコントロールして安定感のある膝にやさしい歩き方へと導きます。



２．膝への衝撃を分散吸収

踵の衝撃が直接膝に伝わることも膝への負担を大きくしています。
ＳＨＭ機能は、踵の着地時の衝撃をゴムの弾力で吸収。
さらに、その衝撃をスクリューの回転力で分散します。
これで、膝への負担を効果的に和らげるのです。



３．膝を安定させるももの内側の筋肉を有効活用

歩行時に膝を安定させる役目のももの内側の筋肉を有効に働かせます。普段あまり使われないこの筋肉を働かせることで、健康に歩くための身体づくりができます。

九州経済産業局長賞

部　門	製品・技術開発	企業・団体名	日本製鉄株式会社
受　賞 件　名	高延性厚鋼板の開発による船舶衝突安全性の向上		
受賞者	リーダー：柳田和寿　（日本製鉄株式会社） メンバー：市川和利、大川鉄平、小田直樹（日本製鉄株式会社）、紙田健二（今治造船株式会社）、山田安平（海上・港湾・航空技術研究所）、船津裕二（一般財団法人日本海事協会）		

【受賞メッセージ】
この度は、栄えある賞を頂き、大変光栄です。このような開発鋼を大量・安定に製造できていることは現場努力の賜物です。これからも世界最高の技術とものづくりの力を追求し、社会の発展に貢献していきます。

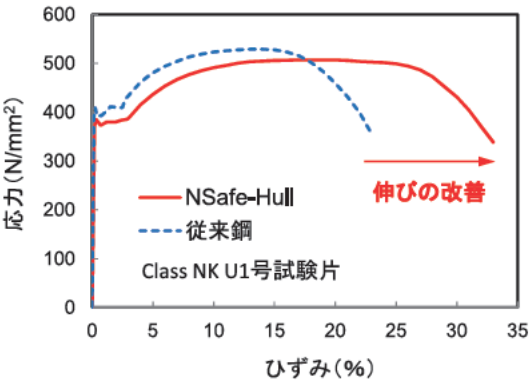
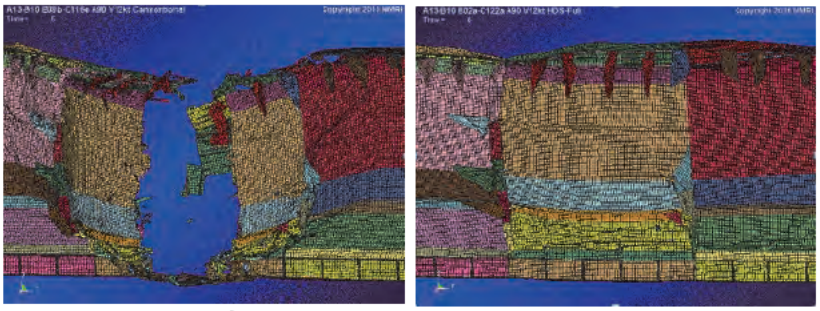


図1.　NSafe®-Hullと従来鋼の応力-ひずみ曲線



(a)従来鋼　(b) NSafe®-Hull

図2.　衝突シミュレーション

【お問合せ先】
〒100-8071東京都千代田区丸の内二丁目6番1号
TEL：03-6867-2132　FAX 03-6867-3597
URL：https://www.nipponsteel.com/

【案件概要】

衝突安全性に優れた船体用高延性厚鋼板NSafe®-Hullを開発し、深刻な海洋汚染をもたらす船舶衝突時の油漏洩を防止することで、海洋環境保全に貢献しています。

開発技術

鋼材中の不純物の極限までの低減と最新の熱加工プロセスによる金属組織制御によって従来鋼の伸び規定値より5割以上の高い伸び値を実現した世界初の船体用高延性厚鋼板NSafe®-Hullを開発しました。(図1) NSafe®-Hullを船体に適正配置することで、衝突エネルギーを吸収し、耐衝突性能を高めることができることを高度シミュレーション(図2)と実験(図3)で検証しました。

効果

NSafe®-Hullは、2014年に今治造船建造の大型ばら積み運搬船に初採用され、超大型原油タンカー(VLCC)(図4)へも採用が決まっています。NSafe®-Hullの適用により、衝突時の破口に伴う油漏洩の危険性を大幅に低減可能で、生態系破壊の防止やその補償のための経済損失の低減に寄与します。また、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)にも合致します。

図3. 実証試験

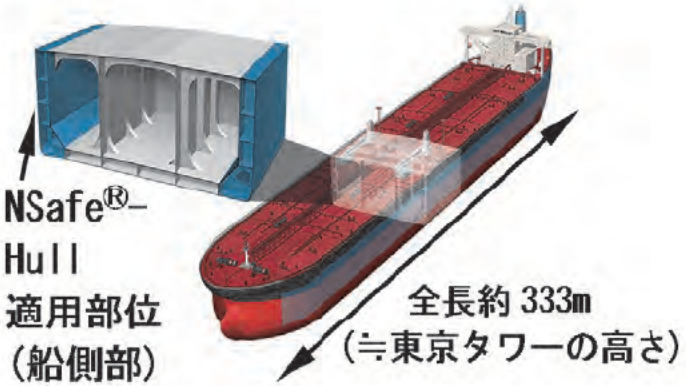


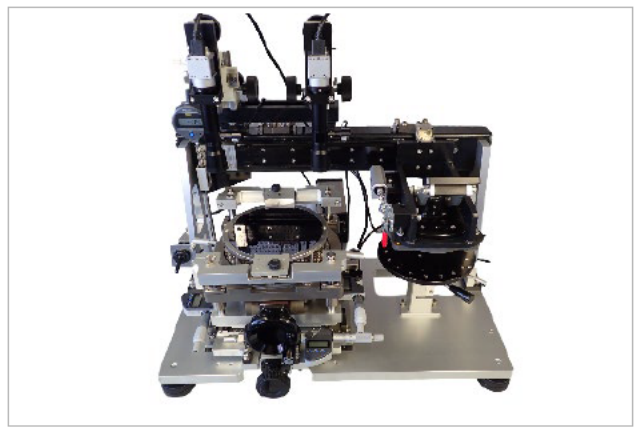
図4. VLCCへのNSafe®-Hull適用

九州経済産業局長賞

部　門	製品・技術開発	企業・団体名	株式会社システム技研
受　賞 件　名	従来の成膜概念を一新したマスク成膜システムの 開発と実用化		
受賞者	リーダー：長峯清隆 メンバー：大坂卓也、松崎洋一、久保健次、村永哲一、 野間慶一郎、大塚貴之、長峯隆介、末藤豪		

【受賞メッセージ】
自動車用パワーデバイスでの開発は5年の時間を要しており、多数の試作や試行錯誤を繰り返してきました。現在多数のハイブリッドカーに適用デバイスが搭載されており、当社技術が環境問題への一助となっていることは大きな励みであります。

<写真１>6inch成膜ホルダ



<写真２> 6inchアライメント装置

【お問合せ先】
〒885-0006 宮崎県都城市吉尾町1988番地１
TEL：0986-27-5300　FAX 0986-27-5301
URL：http://www.sys-gi.co.jp/index.html

案件の概要

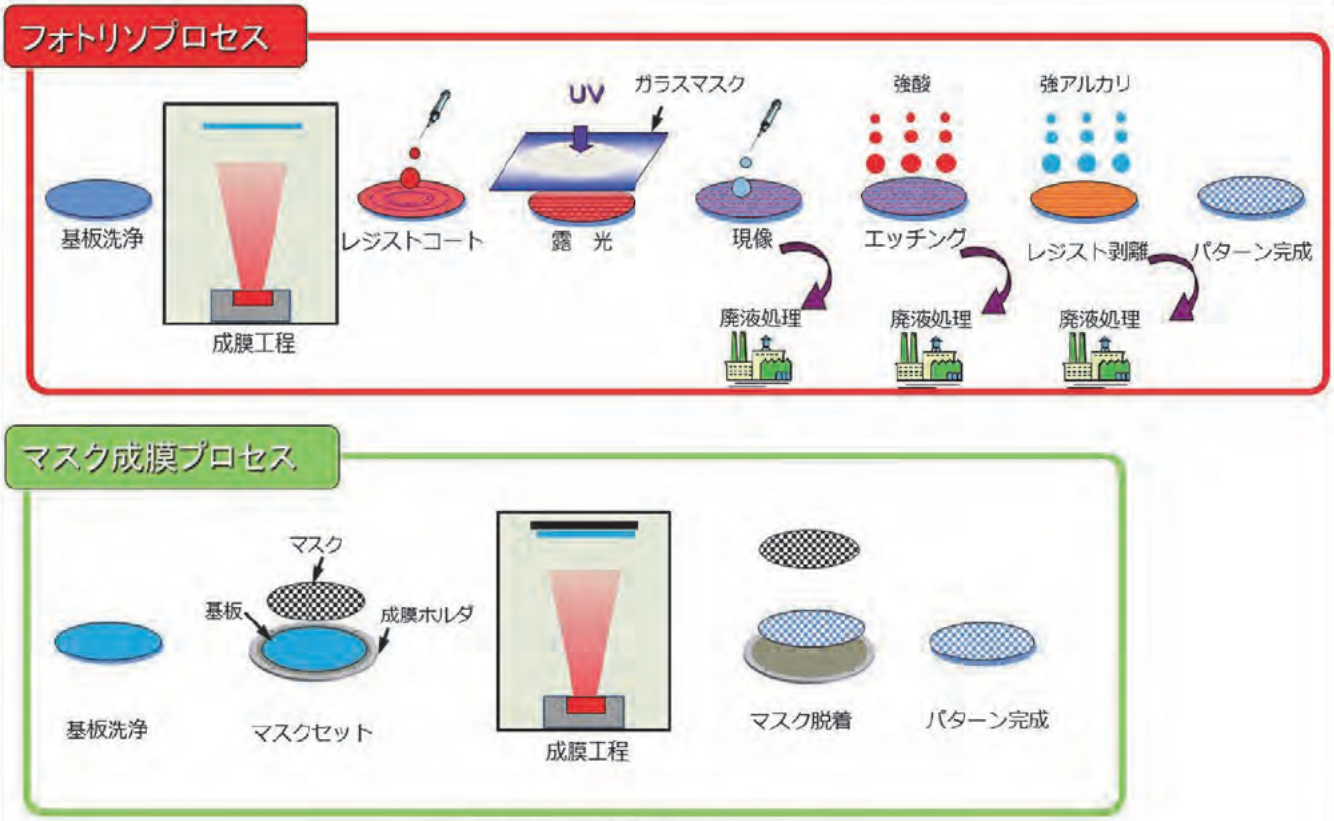


図1　各プロセスの比較

半導体の電極形成方法には図1に示されるフォトリソプロセスとマスク成膜プロセスがある。マスク成膜プロセスは工程数が少なく簡便であるが、精度が低くパターン品位を著しく損なうという課題があった。

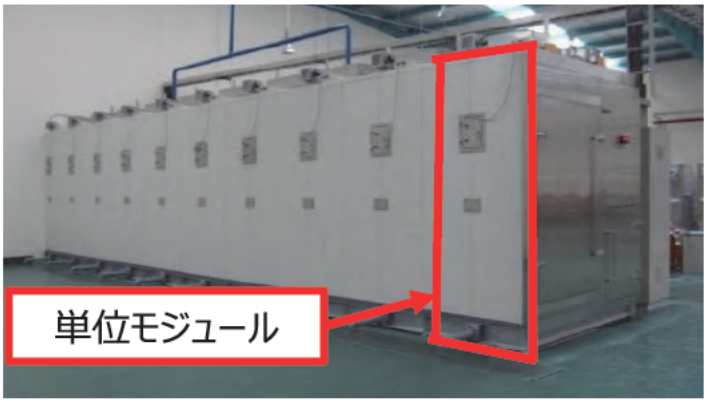
そこで、強力な磁気吸引方式成膜ホルダ＜写真1＞、更にマスクの高精度アライメント装置＜写真2＞の開発に成功した。その結果、従来プロセスでは実現が困難なデバイス の製造、例えば、ハイブリッドカー用のパワー半導体の量産にも大規模に適用された。

今後普及するEV や燃料電池車及び太陽光や風力発電を初めとする自然再生エネルギー分野に於いても、電力変換にパワーデバイスが必要であり、大規模な需要が期待されている。また、難エッチング性材料等でのパターン形成においても各種デバイスへの応用が期待される。

部　門	製品・技術開発	企業・団体名	三州産業株式会社
受　賞 件　名	検疫処理や農業生産現場の殺虫、殺菌処理に効果的なモジュール型蒸熱処理装置の開発		
受賞者	リーダー：迫畑 武志　（三州産業株式会社） メンバー：古垣 洋次　（三州産業株式会社）		

【受賞メッセージ】
モジュール型という自分たち発案のものが認められて大変光栄です。
検疫用技術だった蒸熱処理を農業分野を皮切りに広めていきたいと思います。

(組立メンバーとともにVT-50Pの前にて)



モジュール型蒸熱処理装置 EHK-500MPC 外観

装置運用状況（タイ・バンコク近郊）

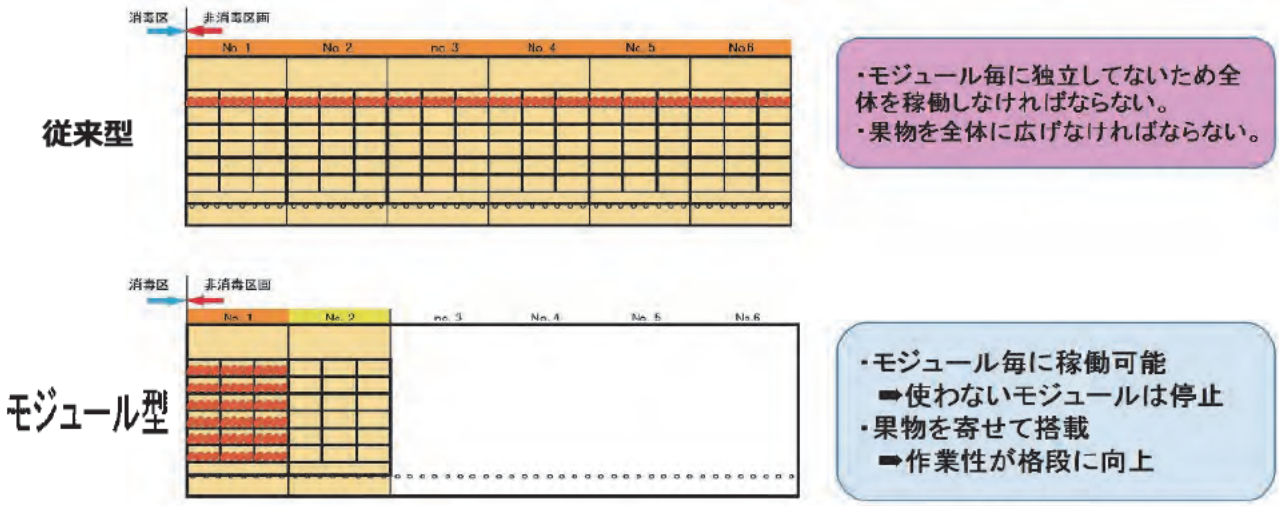
【お問合せ先】
〒891-0189 鹿児島県鹿児島市南栄4-11-2
TEL：099-269-1821　FAX 099-269-1862
URL：http://www.sanshu.co.jp/

ホームページ　フェースブックページ

案件の概要

- マンゴー、パパイヤといった熱帯植物の果実が日本に輸入されているが、これらは、輸出国において殺虫処理を行い、100%寄生虫がいない状態で輸入されなければならない。その殺虫処理において薬剤を用いず蒸気と熱で安全に実行するのが蒸熱処理装置（Vapor Heat Treatment system)である。
- 従来の蒸熱処理装置は、初期の装置構成が巨大な「パネル型」、海上輸送コンテナに類似した形状寸法でコンパクトな「コンテナ型」と呼ばれるものでありそれらの運用においては常に装置全体を稼働させる必要があった。
- モジュール型蒸熱処理装置は、機構、制御を根本的に見直し、新たな方法、設計を施すことで従来できなかったモジュール毎の制御、運転が可能となっている。このことで部分的な運転が可能となり、経済的な運用が可能となった。

「部分的な運転」のイメージ　例えば500kgのマンゴーを処理する場合



また、処理容量を拡張させる際、既設の装置に追加的増設が可能になった。これにより、設置事業者の初期投資を抑えるとともに、無駄な電力・用水の使用を抑え運用費を適正なものとし、さらに事業規模に応じた機材投資計画が立てられるようになった。

- 本機で培った熱処理技術を上述のような検疫処理のみならず、他の農作物における病害虫やカビ類による病害の防除に寄与しようとしている。さらに温湿度管理によって植物の生理現象に物理的に働きかけ丈夫な苗の育成、ひいては収穫の増加が見込めないかとフィールドテストを進めている。

部　門	製品・技術開発	企業・団体名	安井株式会社
受　賞 件　名	世界が認めた高機能プラスチック製手術器具の開発と実用化(商品名：コウプライト®)		
受賞者	リーダー：荒殿　剛 メンバー：波田野　真人、佐々木　頌祐、豊田　優子		

【受賞メッセージ】

構造、コンセプトはシンプルですが、医療現場のニーズにこたえるため、「使いやすさ」と「安全性」を追求しながら開発を進めていきました。この受賞を励みに更なる製品開発に励んでまいります。

（写真1）当社オリジナル医療機器

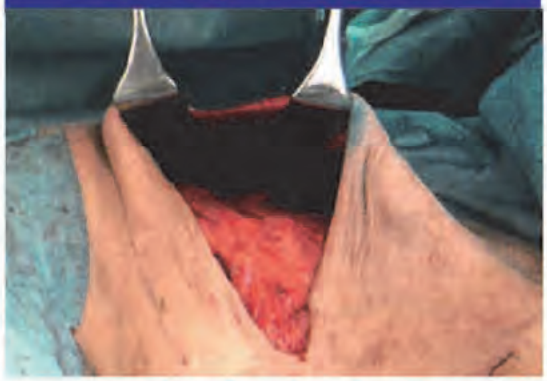
（写真2）外科手術照明下の術野

【お問合せ先】
〒889-0697 宮崎県東臼杵郡門川町大字加草2725番地
TEL：0982-63-7111　FAX 0982-63-7130
URL： https://www.yasui-kk.co.jp/

案件の概要

透明プラスチック化 ＆コードレスでの 照明化

従来品（金属製）



新商品（コウプライト）

- ＬＥＤ照明により**術野を明るく照らし**作業性が良好になる。
- **コードレス**で軽量プラスチック素材により術者の負担を軽減する。
- **透明プラスチック**により接触部位の視認性が高い。
- 電気メスなどの**通電による熱傷を防ぐ**。
- Ｘ線透視下やＣＴガイド下の手術時に**写り込まない**。

医療従事者が開腹など外科系手術で体内の処置を行う時に、術野を広げておくために使用する鈎(こう)という手術器具は、従来、金属製で重く、不透明のため術部の視界を遮り、影ができるなど十分な明るさを確保できず、しばしば視界が悪くなり、さらに電気メスと接触することで通電し、熱傷などの安全性の課題があり、術者の負担になっていた。

そこで、弊社が長年プラスチック製品の製造で培ってきたノウハウを用いて、視野を明るくするため、先端鈎部には透明度が高いプラスチックを採用し、LED照明搭載のグリップ部から発した光が先端鈎部の内部を効率良く通過するように構造設計した（商品名：コウプライト～写真1参照）。多くの光が体内に放射され、医療事故の回避及び、作業効率の向上に繋がり、使用者だけでなく、手術を受ける患者の負担も軽減した(写真2参照)。

国内外での販売実績があり、さらに事前に滅菌済みのディスポーザブルなので、緊急時、災害時および後進国でも使用可能である。

九州経済産業局長賞

部　門	製品・技術開発	企業・団体名	大電株式会社
受　賞 件　名	暮らしを支え進化し続ける「ＦＡロボットケーブル」の開発		
受賞者	吉田 曉生、津地 誠哉、仁井見 積、西村 和彦、 前田 俊輔、諫元 伸幸、井上 雄太		

【受賞メッセージ】
栄誉ある賞を頂き、大変光栄に思います。ロボットケーブルは数十年に渡り、独自の技術力を活かした製品開発を追求し、高寿命ケーブルを提供してきました。本賞を励みに、今後も進化し続ける最先端ロボットの生命線を支え、さらなる高品質のものづくりに努めてまいります。

ロボットケーブル　国内シェアNo.1

屈曲試験装置

【お問合せ先】
〒830-8511 福岡県久留米市南２－１５－１
TEL：0942-22-1111　　FAX：0942-51-2222
URL：https://www.dyden.co.jp

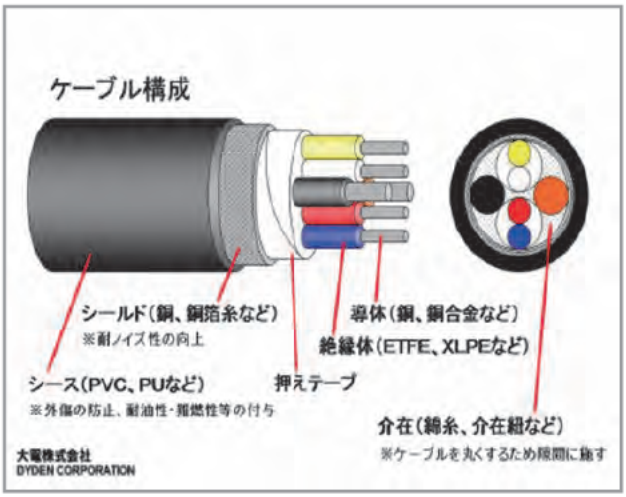
案件の概要

昭和５７年、まだロボットが市場に出て間もない頃に、ＦＡロボットケーブル事業にいち早く参入。電線製造で培った当社独自の設計力を活かし、断線に強く高い耐久性・高速通信性を持つFAロボットケーブルを開発。

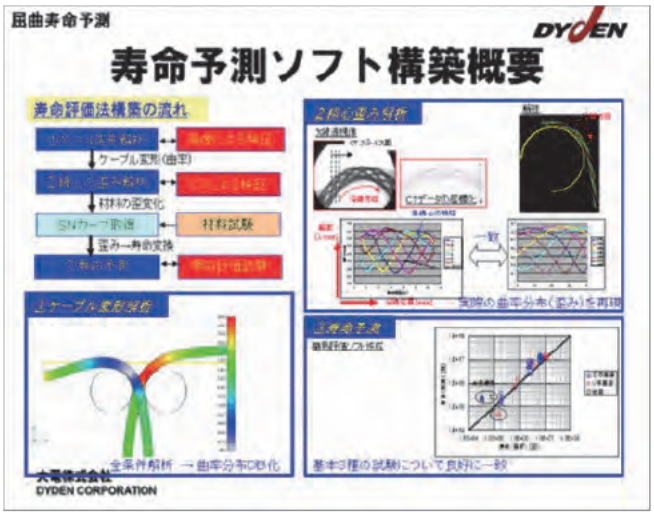
また、進化が速い産業用ロボット業界に対応するため、ロボット用ケーブルの断線に関するシミュレーションソフトを自社開発。動作保証2000万回以上という高品質のロボット用ケーブルを実現。

近年ではＧＨｚ帯域の信号伝送や有害化学物質規制への対応など新たな付加価値を加えながら多様性を増す市場ニーズにも対応。現在では、産業用ロボットの約４割で使用されており、様々な製造現場を支えている。

ロボット用ケーブルの構造



ケーブル寿命予測シミュレーションソフト

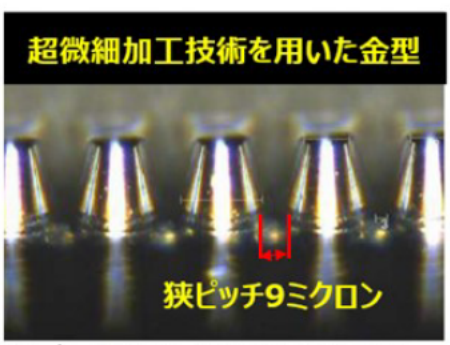


九州経済産業局長賞

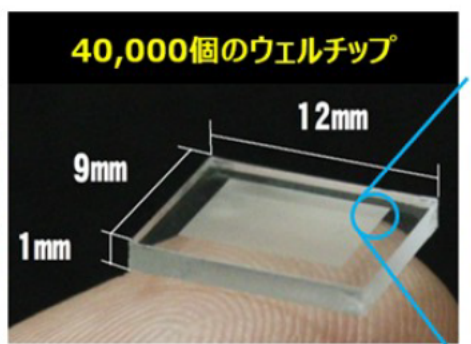
部　門	製品・技術開発	企業・団体名	株式会社ワークス
受　賞 件　名	生産性2倍を実現する高精度連続加工技術に付加した非接触高速機上測定技術による革新		
受賞者	リーダー：三重野　計滋　（株式会社ワークス） メンバー：森本　利和、伊藤　慎吾、荒木　省吾、田邊未来望、田中　信也、森下義之（株式会社ワークス）		

【受賞メッセージ】
次代を切り拓くものづくりの実現に貢献することを経営の柱と考え、精密加工技術の高度化開発を行っています。加工開発は、新技術製品の設計を可能とし、新製品を生み出すことができます。この度の受賞を励みとして、今後も技術開発型ものづくり企業を目指して参ります。

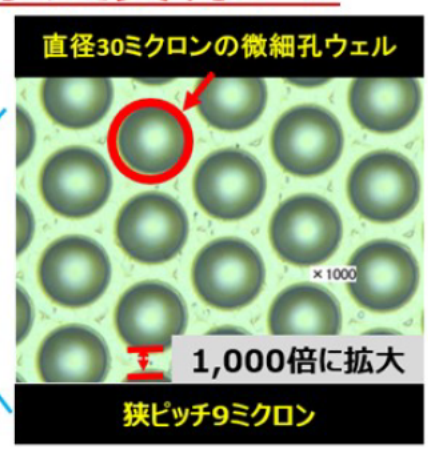
超微細加工技術を用いて、狭ピッチでかつ、微細孔の空いたウエルプレートの大量生産を世界で初めて実現！！



軸ズレのない工具を使用することで、製作可能となった金型



マイクロウェルプレート

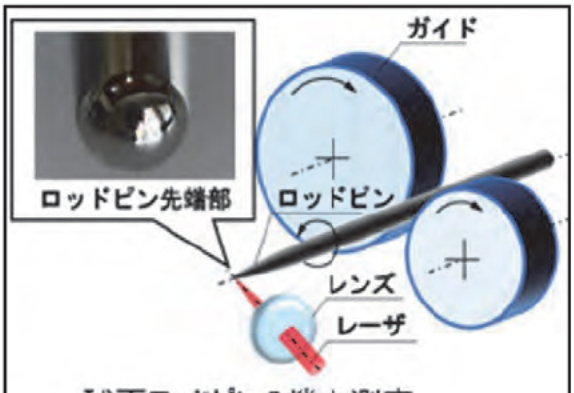


【お問合せ先】
〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町大字虫生津1445
TEL：093-291-1778　FAX 093-291-2727
URL：http://wks-co.com

案件の概要

超高精度マイクロウエルプレート製造を実現した革新技術

- 超高精度マイクロプレートの製造を実現可能とした技術はサブミクロン精度のピンを安定して連続で生産できる技術とその製造システム。
- センタレス研削加工法でシステム化するとともに、研磨にレーザーによる同時測定を行うことで、生産性（従来比の２倍）が高く、高精度な工具製造を可能とした。
- 回転ふれがない高精度な工具が自社内で製作できることで、10ミクロン以下のピッチのマイクロウエルを微細加工で実現。



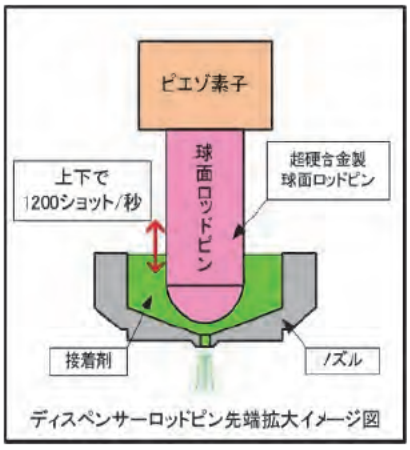
球面ロッドピンの機上測定

【波及効果】

1.【車載半導体への応用】

・HV車等の需要により車載用半導体は30兆円～40兆円の市場が予測される。

・当社は、微量の接着剤をプリント基板へ超高速で塗布し、半導体を接着する為の装置であるジェットディスペンサーのキーデバイス（球面ロッドピン）の製造を行ってきたが、本開発で得られた超高効率加工プロセスにより更なる量産化を図ることが可能になった。



量産が可能となった球面ロッドピン

2.【モーター巻き線機の生産性向上】

・モーターの巻き線技術などの回転体機能部品を10倍に高精度化することで、従来の5倍の高速回転を実現した。

・このためユーザーの売上が3～5倍に飛躍的に拡大することに寄与した。

回転数を3,000RPMから15,000RPMへ大幅な機能向上が可能となった

九州経済産業局長賞

部　門	伝統技術の応用	企業・団体名	独楽工房　隈本木工所
受　賞 件　名	世界で唯一、握るだけで自然に学習姿勢が良くなる、人間工学を応用したグリップの開発		
受賞者	リーダー：隈本知伸　（独楽工房　隈本木工所） メンバー：友延憲幸、楠本幸裕、刈谷臣吾（福岡県工業技術センターインテリア研究所）、河原雅典（富山大学）、市丸美波子（イチマルデザイン）		

【受賞メッセージ】
この度は、栄えある賞を頂戴し、誠に光栄であります。たくさんの方々のご協力によってできあがった商品です。皆さんに感謝いたしております。今後もたくさんの方々に喜んでいただけるような商品作りに取り組んでいきたいと思います。

姿勢が良くなるグリップ「ぐっポス」

パンフレット

【お問合せ先】
〒834-0006 福岡県八女市吉田1507-3
TEL：0943-22-2955　FAX 0943-22-3713
URL：https://www.yamegoma.jp/

案件の概要

近年の子供たちの体力低下に起因した、学習時の姿勢悪化が問題となっており、調査の結果、特に筆記時の姿勢が悪かった。悪い姿勢とは疲労しやすく、集中力の低下にもつながる前屈みの姿勢である。

そこで本開発では、机上で筆記具を持たない側の手で握ることで姿勢を良くするグリップを開発した。グリップを握る手と腕は身体を支える「つっかい棒」の役割を果たし、身体の前屈みを防ぐ（写真1）。

グリップの効果は、学校でのフィールド調査（写真2）、さらに科学的検証（筆記時の動作解析）（図1）において、グリップを使用しない時に見られた前屈みの姿勢が改善されたことにより確認できた。

地元の八女杉を原材料とし、3次元加工が可能な旋盤を駆使して生産したグリップは商品名「ぐっポス」で発売。今までにない、安価で手軽に持ち運べる姿勢を良くする教習具として好評を得て、2015年の発売以来、2万個近くに売り上げを伸ばしている。

今後はさらに、教育関連事業を行う企業との提携により、小学校等への導入が期待される。

写真1　グリップを使用時の機能と効果

写真2　グリップ使用前（左）と使用から3ヶ月後（右）の授業中の筆記姿勢

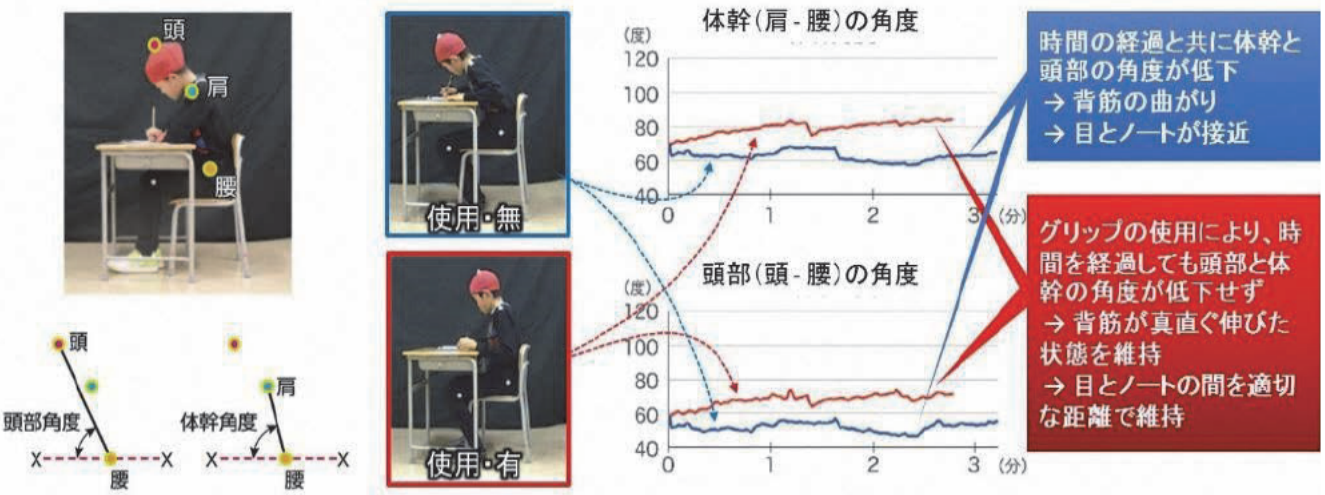


図1　グリップ使用の有無で比較した、矢状面から見た体幹角度と頭部角度

九州経済産業局長賞

部　門	Connected Industries ー優れた連携	企業・団体名	フロンテックＰＲＯ株式会社
受　賞 件　名	国内拠点とベトナムをITで繋ぐ「デジタルものづくり」で効率化と人手不足解消を目指す		
受賞者	リーダー：フロンテックPRO株式会社代表取締役　武田宜臣 メンバー：能勢英幸副社長　根岸祐司副社長　白石正直 生産管理部長　田中裕章工場長　小笠原幸司所長		

グループメンバー集合写真

【受賞メッセージ】

ものづくり日本大賞「Connected Industries－優れた連携」部門賞を受賞いたしました。

これを契機にデジタル化が不十分な後工程の生産管理や会計処理との連携を今以上に円滑にしたい。

また現在の海外拠点は設計部門がメインであるが、生産体制も将来的に構築し全体最適と販路拡大を計画したい。

フロンテックPRO　本社工場

本社工場内製造ライン
（半自動化された前工程）

【お問合せ先】
〒811-3515 福岡県宗像市池田1625番地1
TEL：0940-62-3287　FAX 0940-62-3289
URL：http://www.frontec-u.com/

案件の概要

○事業内容：

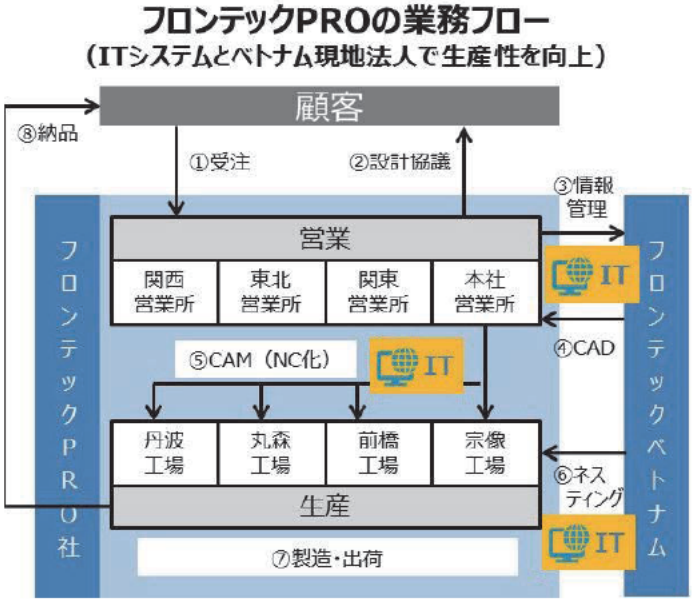
非住宅系施設向けのスチール製・ステンレス製及びアルミ製の防火扉、サッシ、カーテンウォール等を国内4工場で製造。ベトナム現地法人を2017年に設立し、情報管理や設計等を担当。

○IT技術で実現した全体最適化

2018年に自社開発「フロンテックシステム」を稼働し、製品の受注から出荷までのデータがシームレスに連携されるような仕組みを構築。受注後、最適な場所を選択した生産計画を立て、ベトナム現地法人と国内工場をデータで連結。生産設備に自動的にデータが送信され、前工程の半自動化を実現し後工程の組み立てまでシステムで管理しています。

人手不足に悩む同業界において、ベトナム人実習生20余名を雇用しつつ、「フロンテックシステム」の構築し現場で実装させることで、業務を効率化し恒常化していた残業の削減や安定的な受注獲得を実現しています。

フロンテックPROベトナム　事務所



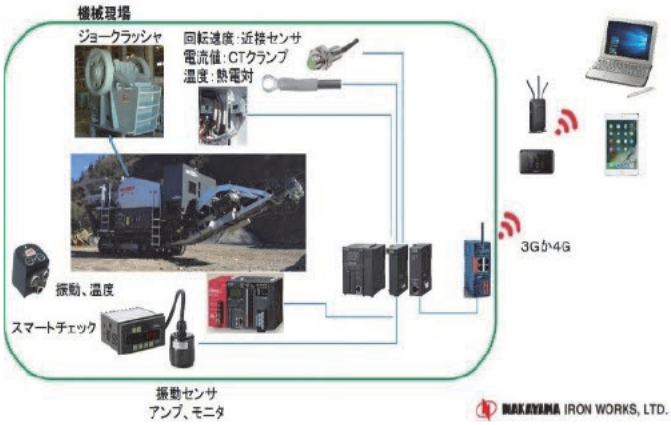
ITシステムで全体最適化された業務フロー図

九州経済産業局長賞

部　門	「Connected Industries－優れた連携」	企業・団体名	株式会社中山鉄工所
受　賞 件　名	インダストリアルIoT機能を搭載した電動自走式クラッシャDendoman NE200Jの開発		
受賞者	リーダー：瀬崎　忠 メンバー：廣島　孝輝、井上　信介、山口　正則、 山下　統聖、川瀬　慧星、小田　亮太		

【受賞メッセージ】
'時代に即応し顧客の要望に応える技術システム・ノウハウの開発と蓄積に努め、技術基盤を拓く'と言う当社の経営方針に基づいて開発された本技術を高く評価されたことを嬉しく思っています。今後も本技術を更に進化させ多くの分野に適用することを目指します。

電動自走式クラッシャ
Dendoman NE200J



IIoT技術を使用して開発された新遠隔管理システム（N-Link）を搭載

【お問合せ先】
〒843-0001 佐賀県武雄市朝日町甘久2246-1
TEL：0954-22-4171　FAX 0954-23-0691
URL：http://www.ncjpn.com/

案件の概要

【社会的課題の解決】
　破砕機（クラッシャ）は、採石場や破砕工場での砕石の生産や建設解体現場等でのリサイクル骨材（コンクリート、アスファルト、スラグなど）の生産に活躍し、現代社会のインフラ整備に不可欠な建設土木産業機械である。採石場や解体現場は、移動の頻度が高いので、現場での生産物の運搬コストの軽減や作業効率の観点から、移動できる需要が高まり、自走式破砕機が誕生していた。
　近年、採石業や建設業・建設リサイクル業では、環境保護対策、技能労働者不足対策、イニシャル・ランニングコストの軽減及びユーザの生産性向上が課題であった。

【革新性】
　そのため、電気と油圧のハイブリッド機能とインダストリアルＩｏＴ技術を搭載した電動自走式クラッシャＮＥ２００Ｊを開発した。
具体的な革新技術は以下のとおりである。
・破砕の電動化による破砕現場の環境保護対策の実現
・電気（破砕）と油圧（走行）のハイブリッドによる省エネ始動と安全性向上
・インダストリアルIoTによる遠隔管理・監視システム（N-Link）の開発
・N-Linkによる装置状態の可視化および保守性・操作性の向上

【波及効果】
　本装置の開発により、ユーザは、
・iPadやPCを使用して、生産量・設備機器の状態を遠隔監視できる。
・遠隔操作を利用して、設備の無人運転・操作が可能となり、安全で、快適な設備運用を実現できる。
・技能労働者でなくとも容易にかつ安全に運転操作ができるようになり、働く環境の大幅な改善が期待できる。

ものづくり日本大賞受賞企業等一覧

敬称略。企業名は受賞当時の名称

回	結果	所属企業名	応募案件名	県別
第１回 (2005年度)	経済産業大臣賞	ｵｰﾌﾟﾝｱｲｼｽﾃﾑｽﾞ有限会社	和裁士の職人技をプログラム化した、きものロボットの開発	大分県
	優秀賞	株式会社フジコー	高性能低コスト溶射装置と効率的かつ安全に配慮した現地溶射ロボットの開発	福岡県
		東陶機器株式会社	環境配慮とユニバーサルデザインを兼ね備えた最先端トイレ「ネオレスト」の開発	福岡県
		株式会社つみきハウス	杉の間伐材で作った３種類のブロックを積み上げて、家の壁を造る、建築新工法	宮崎県
第２回 (2007年度)	内閣総理大臣賞	田川産業㈱	不焼成漆喰セラミックの開発	福岡県
	経済産業大臣賞	新日本製鐵㈱	重荷重鉄道用高耐摩耗・耐内部疲労損傷性レール	福岡県
		富士電機システムズ㈱	フィルム太陽電池とその連続製造技術の開発と実用化	熊本県
	優秀賞	信号電材㈱	世界初「太陽の光に負けない信号灯器」の開発	福岡県
		アジア技研㈱	マグネシウム合金製ねじの薄板への超瞬間溶接システムの開発および製品化	福岡県
		大喜工業㈱	世界初の振動等で緩まないボルトの開発と商品化	福岡県
		日本タングステン㈱	高速輪郭加工用超硬合金製ロータリーダイカッター『ＮＴダイカッター』	佐賀県
		三菱重工業㈱	アモルファス太陽電池用プラズマＣＶＤ装置の開発	長崎県
		水俣浮浪雲工房	畳表製造時に廃棄されるイグサを利用したゼロエミッション高機能和紙壁紙素材の開発	熊本県
		ソニー・太陽㈱	ユニバーサルデザインの思想を、ものづくりの現場に。	大分県
		㈱ホンダロック	世界Ｎｏ．１高速キー加工自動機の開発と量産適用	宮崎県
		昭和シェルソーラー㈱	太陽電池の概念を変えた世界初の次世代型ＣＩＳ系薄膜太陽電池の製造技術開発と実用化	宮崎県
		㈱エルム	光ディスクのキズを短時間で修復する自動修復装置の世界シェアＮｏ．１	鹿児島県
	局長賞	新日本製鐵㈱	「たたら製鉄」法による若手自身による砂鉄と木炭を使った鉄つくりの取り組み	福岡県
		㈱西村鐵工所	多段回転円板型乾燥機	佐賀県
		㈱日本開発コンサルタント	金属薄板コイルのスリッターライン用新型ベルト式巻取り張力付与装置の開発と実用化	長崎県
		GTスパイラル㈲	正確なピッチの真ねじりを実現した金属ねじり加工技術と用途の開発	熊本県
		日本フィルム㈱	開け易く再利用できるトイレットペーパー用包装袋の開発	大分県
		和光コンクリート工業㈱	（実車衝突実験で安全性を確認した車両用防護柵基礎一体型擁壁）「Ｇｒ．Ｌ型擁壁」	宮崎県
		㈱藤田ワークス	職人のこだわり、古くも信頼性ある技術が生んだ５層同時接合技術	鹿児島県
第３回 (2009年度)	内閣総理大臣賞	新日本製鐵株式会社　八幡	耐食性を飛躍的に向上させた環境適合燃料タンク用鋼板（エココートーＳ）の開発	福岡県
	特別賞	株式会社住友金属小倉	高強度Ｐｂフリークラッキングコンロッド用非調質鋼の開発	福岡県
	優秀賞	株式会社西部技研	「イオン吸着式全熱交換器」の開発製品化	福岡県
		安川電機㈱	日本のものづくりの課題解決に貢献する安川流高効率生産システム	福岡県
		株式会社岳将	超音波ロータリースピンドルの開発で脆性材料の高速精密加工を実現	福岡県

回	結果	所属企業名	応募案件名	県別
第３回 (2009年度)	優秀賞	有限会社佐賀ダンボール商会	アートとしての伝統工芸「有田焼万年筆」等の高付加価値商品開発と世界への販売	佐賀県
		株式会社エコファクトリー	輻射による熱移動の原理を応用し、空調エネルギーの大幅な削減を可能とした輻射式冷暖房装置ハイブリッドサーモシステム「エコウィン」	熊本県
		新日本製鐵株式会社　大分	大型コンテナ船用高強度高靭性厚鋼板（４７キロハイテン）の開発と新規船体構造設計	大分県
		冷化工業株式会社	従来の混合概念を一新したタンクレス振動ミキサーとシステムの開発・商品化	宮崎県
		マトヤ技研工業株式会社	豚枝肉処理工程におけるロース・バラ肉の肋骨剥離機開発	鹿児島県
	局長賞	共和技研株式会社	空気でボールを飛ばす、高性能ボール発射装置の開発	福岡県
		九州三井アルミニウム工業株式会社	半導体製造装置用アルマイト処理技術とその皮膜を利用したアルマイトナノポアフィルムの開発	福岡県
		株式会社マリン技研	複合自然エネルギーを用いたランニングコスト・ゼロの閉鎖水域水質汚濁防止システムの実用化	長崎県
		リバーテープ製薬株式会社	病院内交差感染の防止を目的としたパック消毒剤の開発	熊本県
		株式会社阿蘇デリシャス	生徒たちの発案した米粉メロンパンが「高校生のコメロンパン」として商品化された。	熊本県
第４回 (2011年度)	経済産業大臣賞	上野精機株式会社	世界最高速の半導体、電子部品向けテストハンドラーを開発し世界シェアＮｏ．１を獲得	福岡県
		特定非営利活動法人博多織技能開発養成学校	職人ではなく世界に飛躍することが出来るクリエ－ターを育てる新しいタイプの専門学校の運営	福岡県
	特別賞	株式会社Ｃ＆Ｇシステムズ	研削加工における仕上加工の省力化、高精度化を実現した自動補正型研削システムの開発	福岡県
		株式会社フジコー	触媒・抗菌金属ハイブリッド溶射法を活用した世界トップの高殺菌・消臭分解機能製品	福岡県
		新日本製鐵株式会社	原油タンカー用高耐食性鋼板「NSGP®-1」の開発と実船適用	大分県
		千住技研株式会社	異分野の乳化新技術を取り入れて開発・製品化に成功した世界で最初の次世代高密度実装用「接合金属粒子」	宮崎県
	優秀賞	一番食品株式会社	高品質スープの生産を実現した小袋包装無菌充填システムの開発	福岡県
		本多機工株式会社	世界初　毎分１５０００リットルの大容量でマイクロナノバブルを発生可能なポンプ	福岡県
		有限会社小森谷嘉右衛門窯	有田焼の伝統技術を活用し、電子レンジで自ら発熱する『ふしぎなお皿』を開発	佐賀県
		株式会社山一	「島原手延べ素麺」技術を活用した高校生の発案による『スープ生姜めん』の開発支援	長崎県
		有限会社アキ工作社	立体イメージを2次元に分解して3次元を再構築する立体造形システムによる商品開発	大分県
		株式会社日南家具工芸社	「おび杉」を原料とした３次元特殊機械加工技術による世界が認めたトップクラスの品質の木製品の開発	宮崎県
		株式会社九州タブチ	一気通貫生産体制確立による多品種少量生産に対応した独自の生産革新プロセスの構築	鹿児島県
		株式会社日本計器鹿児島製作所	農作物を霜害や害虫から守る乾電池式全自動散水・止水制御装置の開発	鹿児島県
	局長賞	有限会社石橋屋	老舗発のイノベーション～体に優しく、食べやすい「星型こんにゃく麺」で世界進出～	福岡県
		株式会社マリネックス	健診オートボーイのシステム開発（ソフト開発）	長崎県
		グリーンサイエンス・マテリアル株式会社	日本固有種スイゼンジノリの代謝物である新規超高分子多糖体「サクラン」の量産化	熊本県
		有限会社坂本石灰工業所	火傷しない安全、安心な生石灰乾燥剤　「乾燥剤I・C」の開発	熊本県
		八光産業株式会社	医薬・化学工業界での多様化したニーズに応える静電気対策用グラスライニング「SEF」	大分県

回	結果	所属企業名	応募案件名	県別
第４回(2011年度)	局長賞	有限会社バンショップ・ミカミ	他社の革新的商品と融合させた独創的軽キャンピングカーのシリーズ展開	鹿児島県
		株式会社小田畳商会	日本古来の畳の伝統技術を応用して和室以外の空間でも利用できる床材洗える畳「洗畳」	鹿児島県
第５回(2013年度)	内閣総理大臣賞	株式会社ワイエスピー	業界最短の製造時間で高品質の豆乳製造を実現した豆乳製造方法	福岡県
		ソニーセミコンダクタ株式会社	世界初、裏面照射型CMOSイメージセンサーの開発と量産化	熊本県
	特別賞	新日鐵住金株式会社	高効率・高品質・低環境負荷を同時に実現できる新製鋼プロセスの開発	福岡県
		三菱電機株式会社	トランスファーモールド形ＩＰＭの開発と製品化	福岡県
		株式会社タカギ	造核剤の活用による効率的かつ安価なアジア地域用の新型浄水システムの開発	福岡県
	優秀賞	ＴＯＴＯ株式会社	プラットフォーム化によって実現された、ウォシュレットの生産プロセス改革	福岡県
		東洋ステンレス研磨工業株式会社	超繊細意匠研磨技術と先進の真空技術による軽量で高耐食なＩＰゴールドチタンの開発	福岡県
		株式会社昭和テックス	高耐久性鉄道レールボンドおよび施工法の開発	福岡県
		株式会社清山	特許技術「セラミックねじ長崎」を活用した繰り返し使用可能な陶磁器容器の開発	長崎県
		有限会社ビューティフルライフ	理美容・医療・介護のサービスのQOLを飛躍的に向上させる多機能車椅子の開発	大分県
		株式会社ブンリ	究極の分離フィルターレス　超精密濾過装置　「大和」　の開発	宮崎県
		丸武産業株式会社	伝統的な甲冑製造技術を再現した本格派「踊れる・走れる」超軽量甲冑の開発	鹿児島県
	局長賞	株式会社イー・エル・テクノ	有機EL照明パネルの高効率生産プロセスの開発	福岡県
		株式会社石川鉄工所	管渠スクリーニング検査を超低コストで実施する検査ロボット「もぐりんこ」の開発	福岡県
		イサハヤ電子株式会社	超小型電気自動車用蓄電池充電器の開発	長崎県
		株式会社熊防メタル	硬度，耐食性に優れた高機能アルマイト技術の開発	熊本県
		株式会社オジックテクノロジーズ	高硬度かつ低応力を実現した精密電鋳技術の開発・実用化	熊本県
		株式会社ライトアップ	量産化が困難な青磁を利用したペンダント照明器具「蕾」の開発	熊本県
		株式会社サニー・シーリング	特殊フィンガー構造による、1.0㎜幅以下の極細スリット加工の技術開発	宮崎県
		交和電気産業株式会社	大光量照明用途への対応を可能にしたLEDチップ超大規模集積型LED照明の開発	鹿児島県
第６回(2015年度)	内閣総理大臣賞	TOTO株式会社	次世代半導体デバイスを支える「製造装置用低発塵性部材」の開発	大分県
		有限会社藤井ピアノサービス	グランドピアノの音色と機能を持つアップライト型グランフィールピアノ	鹿児島県
	経済産業大臣賞	ソニーセミコンダクタ株式会社	「世界初、積層型CMOSイメージセンサーの開発と量産化」	熊本県
		株式会社オカモト商店	海外進出を実現した、洗濯や摩擦で色移りしない高品質の久留米絣製品	福岡県
	特別賞	株式会社安川電機	究極の小型・高効率を実現した世界初のGaNパワーコンディショナの開発	福岡県
	優秀賞	株式会社筑水キャニコム	"作業効率24倍"を達成"業界初四輪駆動式"乗用草刈機「まさお」の開発	福岡県
		株式会社昭和テックス	簡便・低価格・高精度な打音検査装置の開発	福岡県

回	結果	所属企業名	応募案件名	県別
第６回 (2015年度)	局長賞	日建エンジニアリング株式会社	肉厚パイプの極小R曲げ加工と３次元曲げ加工技術の開発	福岡県
		龍宮株式会社	日本で初めて「脱脂綿」を使いエコテックス認証を受けた健康寝具「パシーマ®」	福岡県
		株式会社ブライテック	世界で初めて、回転中のモータ固定子の磁気特性分布の可視化を実現	大分県
		第一施設工業株式会社	低価格でスピード3倍を誇る画期的な垂直搬送機『スパイラルリフター』の開発	福岡県
		株式会社九州電化	国内最高峰、重粒子線ガン治療装置の普及を可能とした表面処理技術	福岡県
		株式会社ナノクス	超微細気泡を生成する構造により世界最高の高密度数を実現した装置の開発	福岡県
		エビスマリン株式会社	無翼扇型送風機「ホールエアストリーマ（HAST）」	長崎県
		タカハ機工株式会社	ソレノイド発明品コンテスト「ソレコン」等でものづくりの楽しさを若い世代に発信	福岡県
第7回 (2017年度)	経済産業大臣賞	株式会社ファインテック	フィルム等の切断現場の大幅コスト削減を実現する超硬合金素材による高精度刃物の開発	福岡県
		株式会社久留米リサーチ・パーク他1団体	産・学・官・協の連携による久留米地区のゴム産業人材育成	福岡県
	特別賞	株式会社フジコー	鉄鋼圧延用ロールの省エネ、低コストを実現する世界初の再生技術・摩擦圧接技術の開発	福岡県
		リックス株式会社他3団体	ナノ粒子のダメージレス分散を実現する湿式微粒化装置「G-smasher」の開発	福岡県
		中越パルプ工業株式会社他1団体	両親媒性を有するACCナノセルロース「nanoforest」の開発と実用化	富山県
		株式会社イシモク・コーポレーション他2団体	世界初の革新的な塗装方法により、従来比工程数1/10を実現した、高耐久性塗装鏡面家具の開発	福岡県
	優秀賞	株式会社戸畑ターレット工作所他1団体	自動車用鉄部品をアルミへ置換することを可能とするアルミ高強度化鍛造技術の開発	福岡県
		昭和機器工業株式会社	自家発電設備のポンプ・モーターが洪水や津波等で水没することを防止する世界初の機器	福岡県
	局長賞	株式会社九州電化	業界初！　電気接点に革命を起こす表面処理技術の開発　(材料コストダウン90%達成)	福岡県
		矢部川電気工業株式会社	世界オンリーワン　水素ステーションオンライン「水素燃料CO濃度計測装置」の開発	福岡県
		株式会社中島製作所	病院給食の質の向上と経費削減を実現したマイクロ波再加熱カートの開発	佐賀県
		武井電機工業株式会社	タッチパネルディスプレイ用機能性フィルムのための熱影響を抑制するレーザ切断装置	佐賀県
		株式会社メカトロニクス	世界最軽量級「非破壊糖度計」の開発	長崎県
		株式会社サクシス	耐震用落下物等防止措置併用軽量システム天井「サクシス天井W」	熊本県
		富士エネルギー株式会社	長年の経験・技術により開発した業務用真空ガラス管形（ヒートパイプ形）太陽集熱器	鹿児島県
		薩摩総研株式会社	放熱用Ａステージサーマルシート（製品名：熱ゼロ）～サーマルグリス代替商品～	鹿児島県
		株式会社日本計器鹿児島製作所他2団体	茶園管理機械のロボット化技術の開発	鹿児島県
		株式会社増田桐箱店	桐箱製造の伝統技術と異素材を組み合わせた桐製品の開発・販売	福岡県
		公益財団法人　北九州産業学術推進機構	中小製造業でのロボット活用につなげる人材育成支援事業	福岡県

第８回　ものづくり日本大賞　経済産業大臣賞表彰式
（2020年1月27日（月）　ザ・プリンスパークタワー東京）

九州からは3件13名1団体が受賞し、梶山経済産業大臣から表彰状の授与が行われました。祝賀会では、受賞団体がブース展示が行われ、受賞内容をPRしました。

梶山経済産業大臣の挨拶（表彰式）

賞状授与

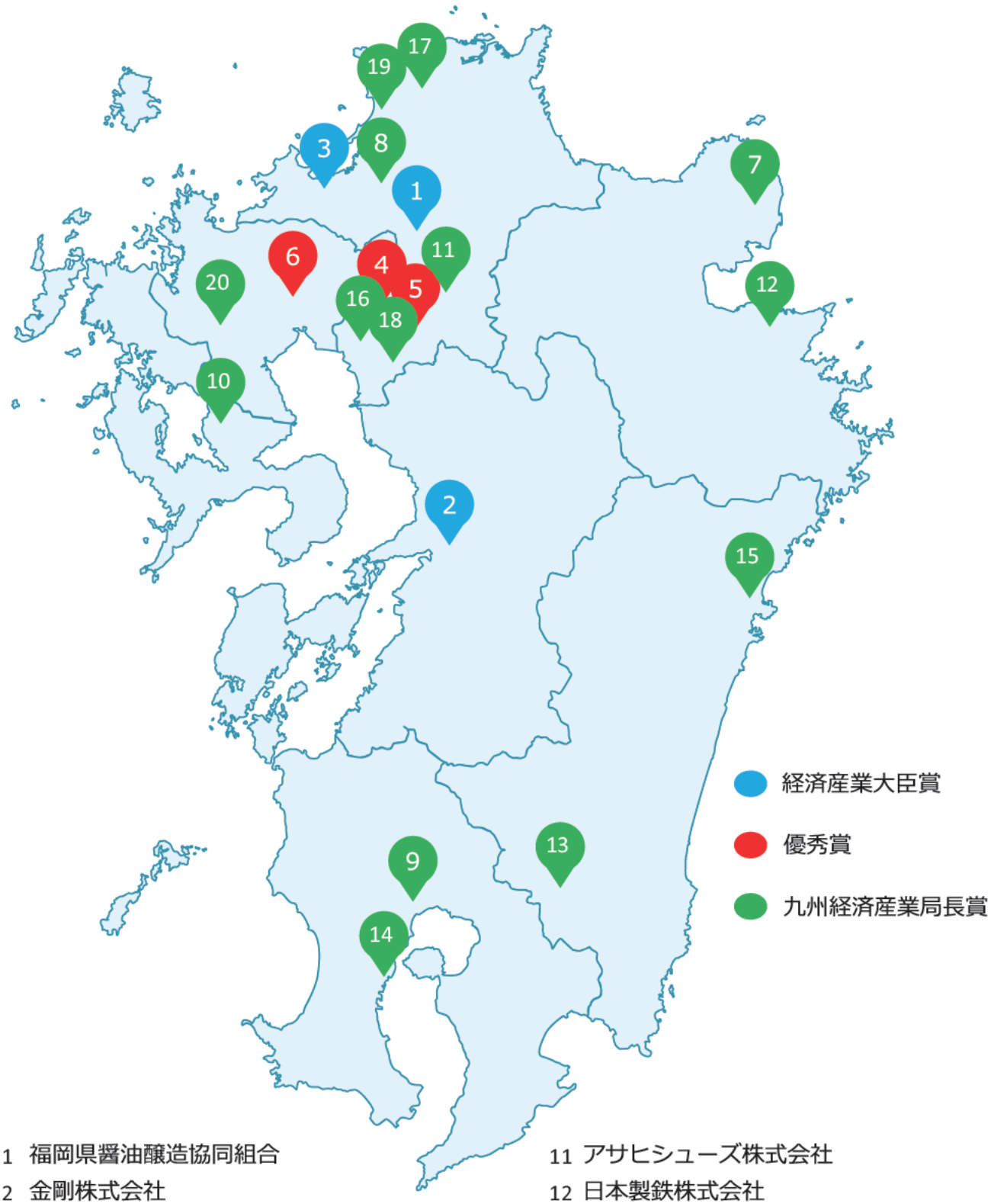
福岡醤油醸造協同組合

金剛株式会社

福岡県産業・科学技術振興財団

祝賀会の様子

第８回ものづくり日本大賞　受賞企業立地マップ



1　福岡県醤油醸造協同組合
2　金剛株式会社
3　公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団
4　中島ゴム工業株式会社
5　株式会社中島田鉄工所
6　九州精密工業株式会社
7　株式会社テラフーズ
8　株式会社九州電化
9　株式会社オーケー社鹿児島
10　株式会社ウラノ
11　アサヒシューズ株式会社
12　日本製鉄株式会社
13　株式会社システム技研
14　三州産業株式会社
15　安井株式会社
16　大電株式会社
17　株式会社ワークス
18　独楽工房　隈本木工所
19　フロンテックＰＲＯ株式会社
20　株式会社中山鉄工所

※受賞代表団体のみ記載